



北スラウェシ 日本人会  
NORTH SULAWESI JAPAN CLUB

日本人会会報

# タルシウス

## TARSIUS



第3号

SELAMAT MENEMPUH HIDUP BAHAGIA

Untuk

Meiske Taroreh  
dan  
Yuichi Oshikawa

【左写真】

去る11月25日、会員の押川さんがメイスク・タロレさんとマナドでご結婚されました。  
(詳しくは本文をお読み下さい。)

< 1999年 正月 >

北スラウェシ 日本人会

〈 会報 タルシウス 第3号 〉



目 次

- ◇ 年頭のご挨拶  
北スラウェシ日本人会 会長 前田 良昭 ..... 2
- ◇ 南北スラウェシ  
医療従事者訓練センター建設計画 牛崎英次郎 ..... 3
- ◇ 国際結婚 完全マニュアル 内田 忠茂 ..... 6
- ◇ スラウェシの珍獣 川井 雄二 ..... 11
- ◇ 「国際交流基金」のご紹介 村上かおり ..... 15
- ◇ 外国語学習における「動機」 村上かおり ..... 19
- ◇ マナドへ来て2ヵ月経ちました 喜多 和 ..... 21
- ◇ 国軍階級に関して 辻田 武司 ..... 24
- ◇ 携帯常備薬に関して 辻田 武司 ..... 25
- ◇ アルコールと肝臓 海外生活健康マニュアル ..... 27
- ◇ スラウェシの海 シーラカンス 八巻 宏之 ..... 28
- ◇ ゴルフプレーのお勧め 牛崎英次郎 ..... 32
- ◇ ミナハサ観光案内(3) 川井 雄二 ..... 35
- ◇ 日本の「恥」とインドネシアの「シリッ」 佐久間 徹 ..... 37
- ◇ 北セレベスと日本の子ども交流会 報告書 ..... 39
- ◇ 編集後記 日本人会編集部 ..... 46
- ◇ 安全対策連絡協議会 お知らせ/緊急連絡網 ..... 47

## 年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます、本年も宜しく願い申し上げます。  
年頭に当たり皆様方のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げますと共に良き歳でありますよう願っております。

私はインドネシアに赴任して二年を経過致しました、当地に赴任した当初は言葉や習慣又食事等に悩まされ気の強い私であります。少々ホームシックに掛かり大変でしたが住めば都の言葉通り現在は第二の故郷の様に思えて参りました、インドネシアの友人も出来又日本人会の皆様方とお付き合い等で毎日楽しい生活を送らせて頂いております。

本年度の私の願いは趣味に費やす時間を多く取り魚釣やゴルフを満喫できる時間を作り楽しみたいと思っております、自称魚釣はプロ級（釣ばか）であります。成果の方はお魚に聞いて頂きたいと思っております、船釣及びトローリングの道具を現在製作中で有ります。

皆様方も興味の有る方はご一報下さい一緒に楽しもうではありませんか。

1999年元旦

北スラウェシ日本人会 会長 前田 良昭

これだけはしっておきたいインドネシア

- (1) インドネシア共和国は西はサバン（スマトラ島）から東はメラウケ（イリアン、ジャヤ）に至る約51,000 kmの世界最大の群島国家である。

地理的には北緯6度から南緯11度、東経95度から東経141度に位置している。総面積は約192万km<sup>2</sup>（日本の約5.5倍の広さ）大小合わせて13,667の島々からなり、約3,500の島々に住民が居住している。

インドネシアは火山地帯であり、全土に128の火山があり、その内78が活火山である。

- (2) インドネシア共和国の歴史は (1) ヒンズー教文明時代 (2) イスラム教文明時代 (3) オランダの統治時代 (4) 日本の占領とインドネシアの独立時代 (5) スカルノ時代 (6) スハルト時代の6期に大別する事が出来る。

- (3) 日本軍の占領とインドネシアの独立

1941年12月、太平洋戦争勃発、日本とオランダは戦争状態に突入。

1942年 3月、首都バタビア（現ジャカルタ）を日本軍が攻略。

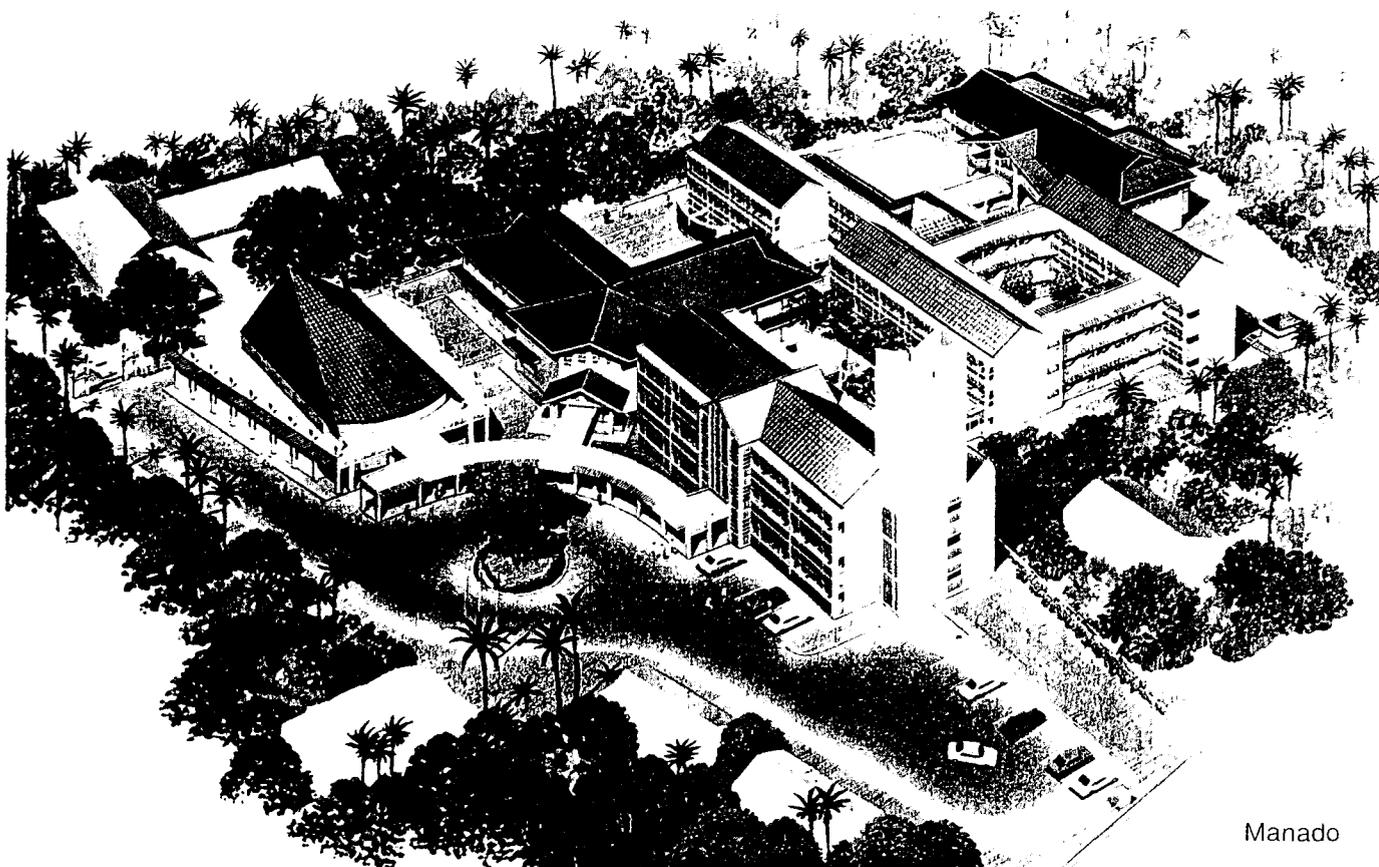
1944年 9月、禁止されていたインドネシア国旗と国家が解禁される。

1945年 8月、インドネシア独立準備委員会発足を決定、同年8月15日、日本の無条件降伏、同年8月17日午前10時インドネシア共和国の独立を宣言し、オランダの主権復帰を拒否する。



# BALAI PELATIHAN KESEHATAN DI SULAWESI UTARA DAN SULAWESI SELATAN

HEALTH MANPOWER TRAINING INSTITUTIONS  
IN NORTH SULAWESI AND SOUTH SULAWESI



Manado

インドネシア共和国南北スラウェシ医療従事者訓練センター

インドネシア共和国 南北スラウェシ医療従事者訓練センター 建設計画  
The Project for The Construction of Health Manpower Training Institution  
in North Sulawesi and Improvement of Health Manpower Training  
Institution in South Sulawesi in the Republic of Indonesia

パシフィック コンサルタント インターナショナル  
現場常駐監理責任者 牛崎英次郎

初めに、皆さんは ODA という言葉をご存知でしょうか。更に無償資金協力という言葉をお聞きでしょうか。このプロジェクトのご紹介前にこれ等のことを概略ご説明致します。

**ODA: 政府開発援助(Official Development Assistance)**

定義 ① 政府または政府の実施機関により、開発途上国または国際機関に供与されるものであること。

② 開発途上国の経済開発と福祉の向上に寄与することを主な目的としていること。

③ 資金協力については、グラント・エレメント(\*)が25%以上であること。

(\*) 援助条件の緩やかさを示す指標

- 形態 I 二国間贈与  
II 二国間政府貸与  
III 国際機関への出資・拠出(他国間援助)

上記形態 I の二国間贈与は以下の二点に分けられます

イ、技術協力(開発途上国に技術移転を行うもの)

ロ、無償資金協力(返済義務を課さない資金を供与するもの)

無償資金協力は、学校、病院、研究所などの施設の建設、教育訓練教材や医療機材などの資機材の調達、債務救済などに必要な資金を供与するもので その内容に応じて 1. 一般無償援助、2. 水産無償援助、3. 災害緊急援助、4. 文化無償援助、5. 食糧援助、6. 食糧増産援助に分類されます。

それでは本題のこのプロジェクトの概要についてご案内致します。

**A、プロジェクトの目的**

インドネシア共和国では、急激な経済成長の一方で、社会福祉、保険医療等の社会インフラ分野の立ち遅れが生じており、地域間或いは階層間における保健医療事情の格差が拡大しつつあります。このような問題の改善のため、日本は特にスラウェシ地域における地域保健医療システムの強化支援として、保健医療技術者のための訓練センターの施設の拡充及び機材の調達を行う目的で、日本の無償資金協力により実施されております。

## B、概要

施主:インドネシア共和国 保健省

コンサルタント:パシフィック コンサルタント インターナショナル

建設業者:飛島建設株式会社

建設地:北スラウェシ州 マナード市マララヤン地区

南スラウェシ州 ウジュンパンダン市アンタン ラヤ地区

建設期間:1998年4月29日～1999年3月15日

規模:マナード 3,760 m<sup>2</sup> 鉄筋コンクリート造 3階建一部平屋建

管理・訓練棟、宿舎棟(40室、80名)、食堂棟、講堂棟(108名)、その他

ウジュンパンダン 1,700 m<sup>2</sup> 鉄筋コンクリート造 2階建及び平屋建

宿舎棟(20室、40名)、講堂棟(216名)

## C、建設事情

建物のデザインコンセプトは、インドネシアの風土・文化、医療訓練施設としての特殊性を考慮すると共に、既存施設との調和、自然環境にも配慮した、21世紀に向けた新しい訓練施設の創造を目指しております。

このコンセプトによる設計図に基づいて工事を進めておりますが、このマナードで調達出来る建設資材はコンクリート位で、殆どをジャワ島より、物によっては第三国(日本を含めて)よりの調達に頼らざるを得ない状況です。更に、労務者もこの地方の人たちは高度な技術を要求される建設に習熟しておらず、多くはジャワ島より雇用しなければならない状態です。

雇用関係で言えば、この不況下でマナードで800人/日、ウジュンパンパンダンで500人/日を雇用している貢献度も、日本の無償資金協力の賜物と考えます。

日本の一般無償案件は単年度決算であることから、会計年度内一年限りの工事期間となっております。建設開始が4月末で完成引き渡し翌年の3月末であります。建設開始時にこの国の歴史の転換点とも言える騒動に遭遇し、その影響を諸に受け、実質10ヶ月の短期間になってしまいました。また、本年はエルニーニョ現象の反対で、工事開始以降多降雨に悩まされ、工事進捗の足を引っ張られております。

併し乍ら、工事は日本の建設業者の請負であり、工期内完成と良好な品質を求められており、目標達成のため、建設業者は朝7:30分の始業から夜の12時まで懸命の努力を重ねております。

皆さん、一度建設現場を訪問されては如何でしょうか。

以上

緊急特別企画

# 国際結婚 完全マニュアル (インドネシア編)

内田 忠茂



先月 (11月15日)、PRIMA KASHINDO 押川裕一さんが、MANADO の教会にて、めでたく結婚されました。

そのことを祝して、今回は緊急特別企画として結婚完全マニュアルを皆様にご紹介いたします。

I. 手続き、II. 必要書類、III. 注意事項 などのすべてを完全網羅しました。これからインドネシアで結婚を予定されている方々の参考にしていただけたら幸いです。

## 外国籍者とインドネシア国籍者間の婚姻について（インドネシア側）

### I. 手続き

1. 外国籍者とインドネシア国籍者双方の宗教が同一である場合、

- a. イスラム教徒は、宗教省宗教事務所（KANTOR URUSAN AGAMA）係官立会いの下、
- b. キリスト（プロテスタント及びカトリック）教徒は教会（GEREJA）で、
- c. 仏教徒は仏寺（VIHARA）で、
- d. ヒンドゥー教徒はヒンドゥー聖職者（PANDITA）立会いの下、

それぞれ婚姻を締結し、その後、民事登記所（CATATAN SIPIL）で登記を行う。

民事登記所で婚姻登記を行うに際しては、男女双方から立会い人各1名が必要。

2. 外国籍者とインドネシア国籍者が宗教を異にしたまま婚姻しようとする場合には、

上記 a～d に代えて婚姻地を管轄する地方裁判所の許可を取得し、民事登記所で登記を行う。

### II. 必要書類

1. a～d 共通

- i. 婚姻用件具備証明書1通（外国籍者のみ）。
- ii. 写真（a～dによってサイズ、枚数は異なる）。

## 2. 民事登記所

- i. 上記 a, b, c, d いずれか発行の婚姻証明書 (又は、地方裁判所の許可書)。
- ii. 出生証明書。
- iii. 有効な旅券のコピー (外国籍者のみ)。
- iv. 婚姻用件具備証明書 (外国籍者のみ)。
- v. 写真 (6 × 4 c m) 各人 3 枚。
- vi. 納税証明書 (外国籍者のみ)。
- vii. 労働局からの許可書 (外国籍者のみ)。
- viii. 会社からの仕事をしているという証明書。
- ix. 改宗証明書

## 3. 州警察 (POLISI DAERAH)

- i. 有効な旅券のコピー (外国籍者のみ)。
- ii. 出生証明書。
- iii. 未婚証明書。

## III. 注意事項

1. 婚姻を目的にインドネシアに入国する外国籍者は無査証ではなく、短期訪問査証 (VISA KUNJUNGAN SOSIAL BUDAYA) を取得しなければならない。
2. 上記の手続き及び必要書類は外国籍者が男女いずれであっても共通。

## 外国籍者とインドネシア国籍者間の婚姻について（日本側）

### I. 手続き

1. 在ウジュン・パンダン日本国総領事館に連絡し、婚姻証明書発給申請書を請求する。
2. 日本から戸籍謄本か抄本をとりよせる。
3. 必要書類がすべてそろえ在ウジュン・パンダン日本国総領事館に提出。

### II. 必要書類

1. 日本人夫又は妻が従前の本籍地と同じところに新本籍を設けるとき
  - i. 届書 2通
  - ii. 戸籍謄本（抄本） 2通
  - iii. 婚姻証明書（挙行地の方式又は外国人配偶者の本国法方式による婚姻のとき。以下同じ） 2通
  - iv. 同和訳文 2通
  - v. 国籍を証明する書面 2通
  - vi. 同和訳文 2通
  - vii. 出生証明書（外国籍者のみ） 1通
  - viii. 同和訳文（外国籍者のみ） 1通

2. 日本人夫又は妻が従前の本籍地と全く別のところに新本籍を設けるとき

- i. 届書 3通
- ii. 戸籍謄本(抄本) 2通
- iii. 婚姻証明書(挙行地の方式又は外国人配偶者の本国法方式による婚姻のとき。以下同じ) 3通
- iv. 同和訳文 3通
- v. 国籍を証明する書面 3通
- vi. 同和訳文 3通
- vii. 出生証明書 1通
- viii. 同和訳文 1通



押川 裕一 さん(27歳)とメイスク・タロレ /Meiske Taroreh さん(24歳)が  
11月25日、マナドの教会にて永遠の愛を誓い、同日 NOVOTEL にて  
華燭の典を挙げられました。

新婦はトモホン近郊のピナラス /Pinaras 町出身です。

お二人の運命的な出会いはマナドのスーパーマーケット、GERAEL にて。  
レジの手伝いをしていたメイスクさんと食糧の買い出しに来ていた押川  
さんが出会ったその時、お互いに一目惚れしたそうです。

新婚の押川さんは現在公私共に超多忙なため、残念ながら今回はご本人  
からの寄稿を頂くことはできませんでしたが、次号には結婚式の様子など  
を綴ってもらえるよう確約を取り得ております。ご期待下さい 【編集部】

# スラウェシの珍獣

川井 雄二

## 1. ウォーレス線とウェーバー線

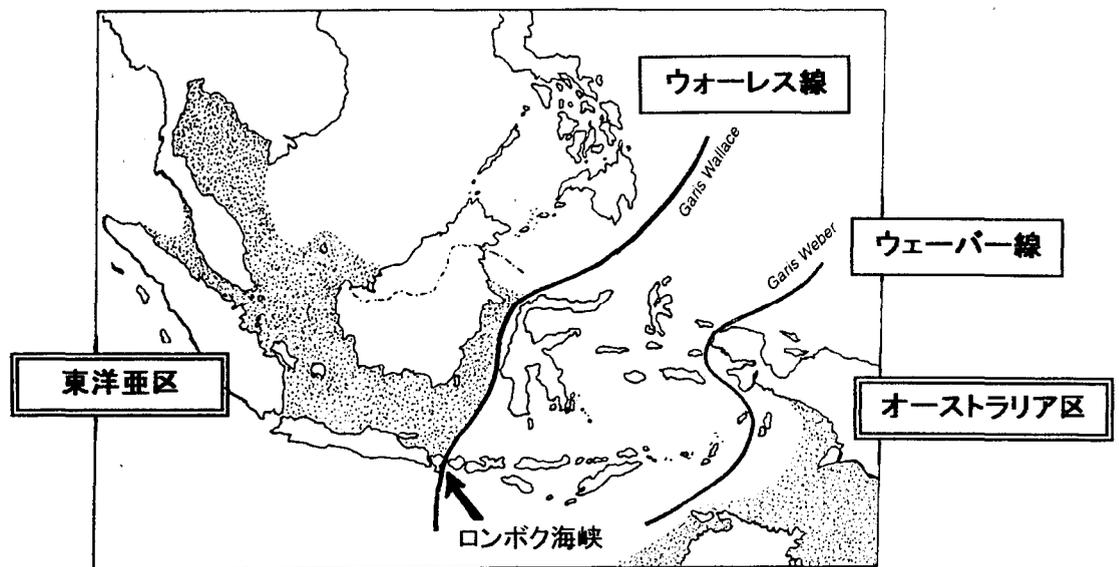
ロンボク海峡を挟んだバリ島とロンボク島はわずか50キロの距離にあるにもかかわらず、その自然条件は大きく異なり、生息する動植物を分かつ明瞭な境界となっている。

この境界線はロンボク海峡から北上し、カリマンタンとスラウェシ島間のマカッサル海峡を通り、ミンダナオ島の南を抜ける。この生物地理学上の線をウォーレス線と呼ぶ。

アルフレッド・ラッセル・ウォーレスの種の起源と分布の研究はダーウィンに大きな影響を与え、『種の起源』の理論的基礎となった。

ウォーレス線の西地帯、スマトラ島、ジャワ島、カリマンタン島は実際にはアジア大陸の一部であり、現在は「一時的に」本土から切り離されて島となっているにすぎない。大陸系の動物はこの地方を自由に往来できたが、大部分は深い海溝があるウォーレス線を東に越えることができなかった。

後の研究によりこの線は東へ移動しウェーバー線として知られるようになったが、その原理は同じである。オーストラリアとニューギニア島は実際には一つの大陸と考えられる。そして大部分の動物たちは深い海溝があるウェーバー線を西に越えることができなかった。



このウォーレス線とウェーバー線の間にある地域にはスラウェシ島、マルク諸島、ヌサトゥンガラ諸島などが位置する。これらの島々は本土と地質学的結びつきを持っておらず、島と島との間の海は非常に深いのでこれらの島々が本土と陸続きであったとは絶対に有り得ないし、島同士が続いていたこともなかったと考えられる。

これらの島々は世界中でも地質学的にきわめて不安定な地域の一つとされ、島をつくる火山活動及び、地殻活動と、島の近くに横たわる深い海溝との間には明らかに何らかの関係があり、多くの理論が提出されている。

この地域は世界でも有数の蝶の産地で、特異な型の固有種が多い。スラウェシ島にはセレベスアオスジアゲハ (Graphium Milon) やカザシシロチョウ (Delis) などが、蝶愛好家垂涎的である世界最大で最美といわれるトリバネアゲハ (Ornithoptera) もセラム島などに生息する。

ダーウィンとウォーレスがはじめて種の起源を説明する法則を世界に認識させて以来、島の動物相の分布状態を説明する多くの理論が出された。

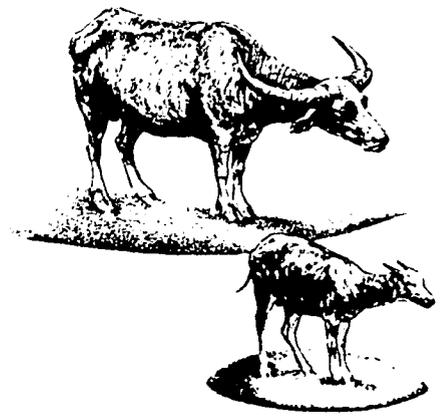
古生物学者ジョージ・ゲイロード・シンプソンが提出した『フィルダーブリッジ』はこれらの理論の中で最も説得力に富んだ一つの理論であり、東南アジアはその理論を実証する理想的な場所である。しかし、ウォーレス線とウェーバー線の間にある地域にはこのフィルダーブリッジの概念が適用されず、シンプソンは『スウィープーク路』という理論で動植物がアジア本土から島々に渡った方法を説明した。

## 2. 島に住む動物

島に住む哺乳類は、しばしば本土に住む近縁種よりも小さい。その理由は、小さな島で動物が餌をあさったり、歩き回ったりするのに有利であるように適応した結果であると信じられている。

熱帯アジア大陸に広く見られる『水牛』（上図）は肩高がほぼ1.8メートルである。スラウェシ島だけに生息する倭小水牛である『アノア』（下図）は世界中の野性牛の中で最も小型で、肩高は90cmしかなく、本土の水牛の半分位の大きさである。

かつてはスラウェシ島にはアジアゾウのほぼ半分の大きさの『コビトゾウ』が生息していたが絶滅した。



## 3. タルシウス (TARSIUS) [メガネザル]

霊長目原猿亜目メガネザル科。世界で最も小さい猿の一つである。学術名は『Tarsius Spectrum』 タルシウスはこの他、フィリピンに生息する Tarsius Syrichta (ミンダナオ・メガネザル) 及び カリマンタンとスラウェシに生息する Tarsius Bancanus の2種類があるが、この北スラウェシの Tangkoko Batu Angus 森林公園内のみ生息する Tarsius Spectrum が最小である。Tarsius の語源は、『Tarsus (足根骨)』である。インドネシア語では、『Tangkasi』『Wesing』などと呼ばれる。

体長は約13cm程だが尾が20cmもあり、この長い尾でバランスをとり数メートルも跳ぶ。長い指は手足とも5本ずつあり、毛が生えていない。指の先は吸盤状になっており、垂直な幹でもとりつける。

前方20mほど先のしか見ることができず、また目は左右には動かない。左右を見るためには頭ごと動かさなければならない。鼻と同じように首を左右に180度回転させることができる。

夜行性で、昼間は木陰でじっとしており、夜になると昆虫を食べるため活動する。

かつて、人々はタルシウスは鼻(幽霊鳥)が変化したものだと思い、『幽霊猿』と呼んで恐れた。タルシウスを目にしてしまった者には不幸が訪れると信じられ、それを逃れるためには3日間家の中に籠らなければならないとされた。英語でもタルシウスは、別名『Spector Lemur (幽霊狐猿)』という。



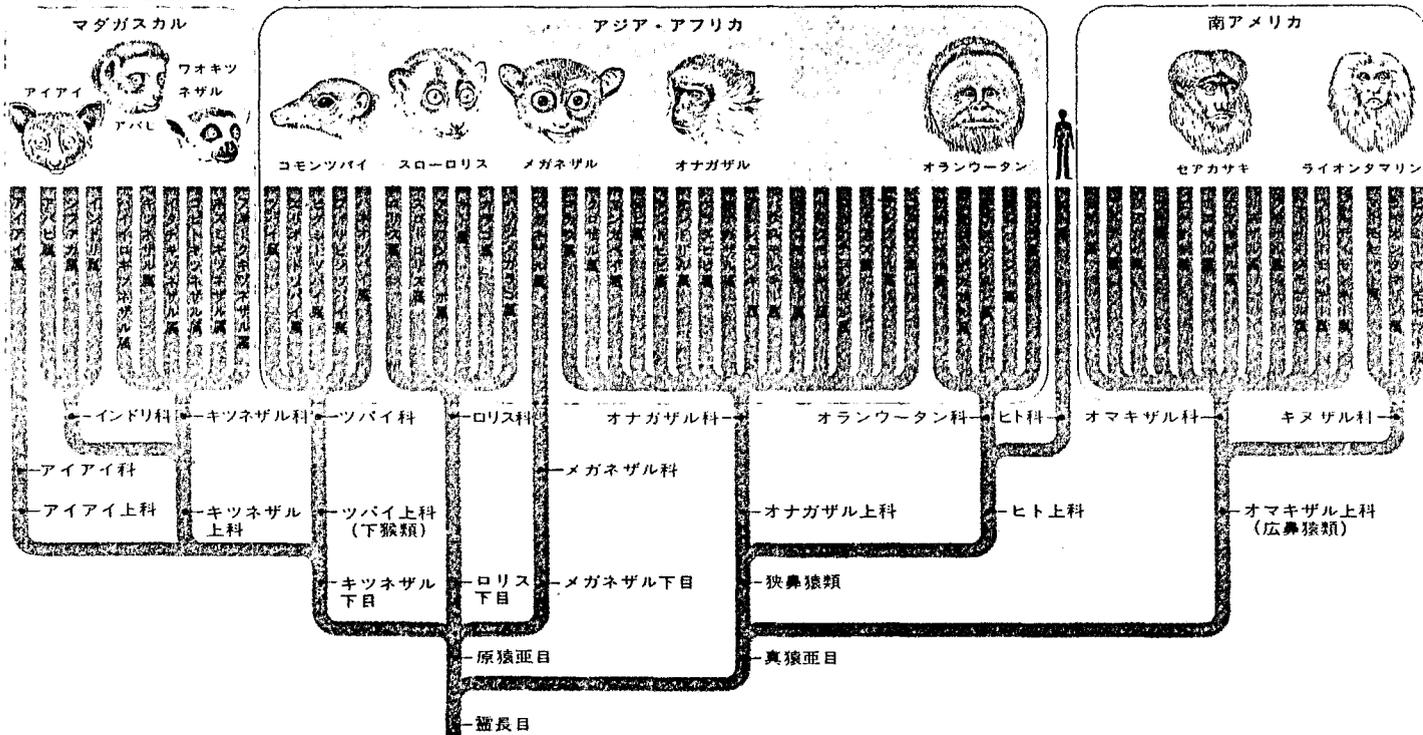
タルシウスと並んで世界で最も小さい猿と言われるのは下記の2種類である。

①コビトキツネザル 【キツネザル科】マダカスタルに生息。夜行性。

②ピグミーマーモセット 【キヌザル科】南米に生息。

体長16cm、尾の長さ18cm、体重85g。誕生時には15gしかない。大きな豆位の大きさに拡大鏡を使わないと見えないほど。それでも1年で大人になり、2年目には子供を生むことが出来る。樹液や昆虫が食べ物。特に蝶を好む。

タルシウスやコビトキツネザルは『原猿類』に属する。原猿類は外見がネズミやリスなどに似ているものが多い。かぎ状の爪や突き出した鼻など、ヒトやニホンザルなどの『新猿類』が進化の過程で失った原始的な特徴を残す。「物をつかむために親指と他の指が向き合っている」という新猿類と共通の性質も持っている。多くは樹上で暮らす。猿類は顔の裸皮割合が大きいほど進化が進んでいる。



スラウェシ島にだけ生息する猿、『スラウェシマカク』がいる。これは、クルザル、ゴロンタロザル、ヘックザル、トンケアンザル、ブーツザル、ムーアザル、ブトンザルの7種に分類される。それぞれ毛の生え方や色、尻だこの形や色、顔の形など外見はかなり違う。

京大霊長類研究所(愛知県犬山市)では竹中修教授(分子生物学)、渡辺邦夫助手(生態学)を中心にこのスラウェシマカクの研究に取り組んでいる。

#### 4. マレオ (MALEO)

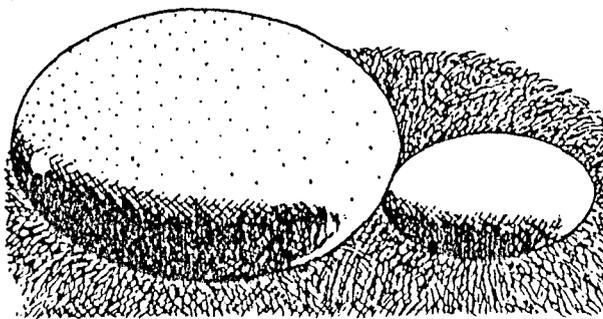
学術名: *Macrocephalon Maleo*。鶏の種に属する。スラウェシ島のみに生息する。

体長は嘴の先から尾まで約60cm。体重があるのであまり飛ぶことはできない。オスとメスの色、形はほぼ同じで大きさで区別する。(オスの方が大きい)

オスとメスは普段は別々に暮らしているが、産卵時期になるとつがいになる。砂地に約1mの深さの穴を掘り卵を産む。オスは穴を掘る手伝いをする。産卵後、卵の上に小枝や落葉で保護した後、砂をかけて穴を埋める。産卵地は火山地帯か温泉地の周辺で、地下熱で卵が暖められる。頭の上にある冠は温度測定機能を持ち、適温の砂地を探す。

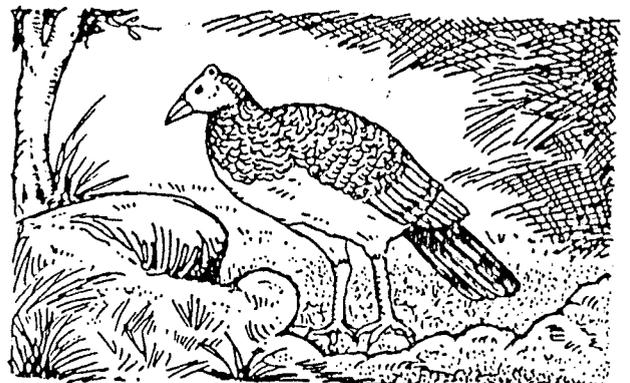
産卵後、69~72日で孵化する。雛は2~12時間かけて自力で地上に出、走って近くの藪の中に入る。その後も親鳥の保護を必要としない。1年間通して産卵するが、一番多いのは11月から1月にかけてである。産卵後、メスは死んだようになり、約2週間休息する。

卵の大きさは鶏卵の約5倍で、赤い斑点がある。マレオの餌は、約25種類の葉、若芽、木の実、果実などである。マレオやその卵は非常に美味なので濫獲されたため、1977年政府の保護動物に指定されたが、依然として密猟者が絶えない。



Telur maleo besarnya lima kali telur ayam.

マレオの卵(左)と普通の鶏卵(右)



Maleo telurnya banyak dicuri orang.

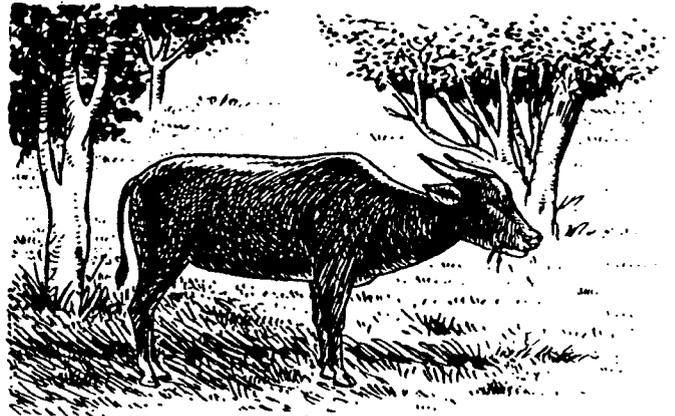
1998年10月19日、ジャカルタのタマン・ミニ (Taman Mini Indonesia Indah - TMI I) の鳥園で、  
 一羽のマレオの雛が孵化した。  
 飼育されているマレオが産卵し、その卵が孵化したのは、これが最初のケースである。  
 これは1995年2月22日、中部スラウェシ州政府より寄贈された1歳のマレオのつがいによるものである。  
 マレオの檻の中には、深さ80cmの砂場が設けられた。砂場の下にはパイプが配管され、47度の湯が巡回  
 し、砂の温度が30度に保たれている。

## 5. アノア (ANOA)

学術名: *Anoa Depressicornis*。コビトウシ。  
 身長(高さ) 80~100cm。体長(鼻の先から尾まで) 160cm。  
 偶蹄類で、蹄は4つに分かれている。各足に前を向いた2つの蹄があり、やや上方にもう2つの蹄が  
 ある。上方の蹄は地面には触れない。体毛は黒ずんだ茶色。他の牛や水牛と同じように草食性。  
 野性のアノアの生態を観察するのは非常に困難である。人間の匂いを嗅ぐと逃げるか逆に襲いかかっ  
 てくる。その角で死傷した者も多い。アノアの皮や角、肉などを目的に濫獲されたため、政府の保護動  
 物に指定された。  
 スラウェシ北部から東南部にかけて生息し、東南スラウェシ州では州のマスコットとなっており、州  
 の紋章の中にデザインされるほどである。  
 アノアは低地に生息するものと山岳部に生息するものの2種類に大別することができる。フィリピン  
 にも *Bubalus Anoa Midorensis* という似たような牛がいるが、アノアよりも大型で、水浴びをしないこ  
 とが異なる。  
 牛と同様、1回に産むのは1頭だけ。妊娠期間は10ヵ月間である。母親には奇妙な性質があり、産ま  
 れた子が雌の場合、母乳を与えないことがある。これがアノアが繁殖しない最大の理由である。



東南スラウェシ州の紋章



## 6. バビ・ルサ (BABI RUSA)

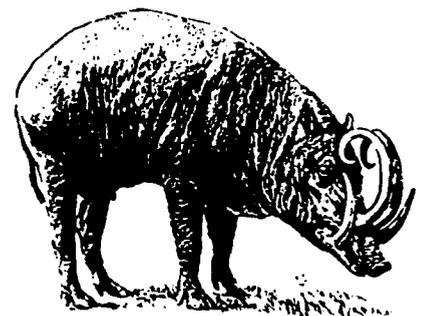
学術名: *Babyrousa Babyrousa Celebensis*。猪の一種。体長110cm、体重100kg。豚より小さく足が  
 長い。一番の特徴は4本の牙である。一見鹿の角の様に見えるので、バビ・ルサ(鹿豚)と呼ばれる。  
 この稀産種の上側の牙は鼻の上皮を貫いて額までそり返り、43cmにもなることがある。初期の博物学者  
 たちは、この曲がった牙は疲れた時に頭を休ませるため、枝に掛ける「カギ」の役目をすると思ってい  
 た。しかし雌には牙がなく、ただのコブになっているところから、おそらく性的な意味をもつ装飾物で  
 あると考えられる。かつてバビ・ルサの牙は魔除けとして信じられていたため乱獲された。  
 アノアと同じく偶蹄類で、蹄は4つに分かれている。バビ・ルサは川や湖の近くに住む。泳ぎが得意  
 で、走るのも速い。昼間は寝て、夜間食物を探しに活動する。1回の出産で2頭の子供を産む。妊娠期  
 間は125日~150日間。寿命は約10年。

バビ・ルサは本来スラウェシ島のみに住む珍種だが、

下記の島々にも一部生息する。(学術名)

- ① Togian 諸島 (*Babyrousa Babyrousa Togeansis*)
- ② Sula 諸島 (*Babyrousa Babyrousa Frosti*)
- ③ Buru 島 (*Babyrousa Babyrousa Babirusa*)

いずれもウォーレス線とウェーバー線の間にある地域で  
 ある。バビ・ルサは海を泳いでこれらの島々に渡ったと  
 考えられている。



## 「国際交流基金」のご紹介

IKIP MANADO (マナド教育大学)  
村上 かおり

現在マナドには2人の日本人、家田及び村上が「国際交流基金 (The Japan Foundation)」より派遣され、共に日本語教育に携わっている。そこで今回は、北スラウェシ日本人会の皆様がきっと常々疑問に思っていたらっしゃること、「『国際交流基金』とはなんぞや」について書かせていただきたいと思う。

国際交流基金のホームページ (<http://www.jpff.go.jp/>) によると、「国際交流基金は、文化交流を通じて国際相互理解と国際友好親善を促進することを目的として、昭和47年(1972年)に外務省所轄の特殊法人として設立されました。わが国初の国際文化交流の中枢を担う専門機関として、学術、日本研究から日本語教育、芸術、出版・映像メディア、スポーツ、生活文化まで幅広い分野で人の交流を基本とした文化交流事業を実施しています。」と明記されている。しかしこれではあまりにも抽象的なので、具体的にどんな活動を行っているかということをご紹介するために、最近の例として『国際交流基金NEWS No.215』(1998.10.1 発行)より抜粋すると、

### (1) 平成10年度「国際交流基金賞」授賞

- ・ロバート・A・スキヤラピーノ氏 (カリフォルニア大学バークレー校ロブソン研究所名誉教授・国際政治学者・東アジア研究者)
- ・團伊玖磨氏 (作曲家)

### (2) 平成10年度「国際交流奨励賞」授賞

- ・トマス・エルドス氏 (アビニヨン芸術祭、パリ市立劇場他芸術顧問)
- ・釜山韓日文化交流協会
- ・サントリー文化財団

### (3) 南インド古典音楽コンサート『悠久の風笛』招へい公演 (東京、神戸、福岡)

### (4) インド現代美術展『神話を紡ぐ作家たち』 (シンポジウム「インド近・現代美術とその文化的背景」も同時開催)

### (5) TICAD II 記念 アフリカ諸国巡回日本映画上映会

### (6) 季刊『国際交流』第81号の発行

### (7) 英文書誌情報誌 "Japanese Book News No.23" の発行

### (8) 『日本語教育通信』第32号発刊

### (9) 外交官日本語研修・公務員日本語研修・司書日本語研修・研究者日本語研修

### (10) 日本語教育専門家長期派遣事業

### (11) 海外日本語弁論大会助成

(12) 海外公演助成

- ・英語落語アメリカツアー
- ・赤嶺正一沖縄舞踊団コスタリカ公演
- ・現代演劇『MITSUKO- ミツコ、世紀末の伯爵夫人』フランス、ドイツ、オーストリア公演 等

(13) 国内公演助成

- ・日中平和友好条約締結20周年記念第七回黎明コンサート「雲南少数民族の音楽をたずねて」
- ・ベトナム民族アンサンブル「ボンセン」
- ・ロシア・ジャズ音楽「トリオ・ウラジミール日本公演」 等

(14) 海外展助成

- ・熊本県立美術館所蔵今西コレクション・肉筆浮世絵展（アムステルダム国立美術館にて）
- ・プレインカ芸術とペルーアートの今日展～アンデスマゾン大地の力」（フジタヴァンテミュージアムにて） 等

(15) 海外巡回展主催

- ・凧・独奏展（グアテマラ・チリ・ネパール・ラオスにて）
- ・日本人形展（米国・クウェート・カタールにて） 等

(16) フェローシップ招へい、文化人招へい、国際会議出席者招へい

(17) スポーツ専門家派遣、日本文化紹介派遣、文化遺産保存専門家派遣、文化協力派遣、国際会議出席者派遣助成

(18) 日欧国際会議助成、国際交流会議助成

(19) 国際交流セミナー「空間と演技 - 能狂言を初めて見る人のためのヒント」  
・・・等々

・・・このように、この10月分だけでも実に様々であり、国際交流基金（以下「基金」と略す）の活動がいかにより多彩な方面に及んでいるかがおわかりいただけるかと思う。（単に羅列されただけではなんのことやらよくわからんとおっしゃる方、そしてお時間とご興味がおありの方は、どうぞホームページをのぞいてみてください。）

このうち、村上が派遣された事業が(10)の「日本語教育専門家長期派遣事業」であり、家田が派遣された事業が、10月に関しては該当者がいないため上には記載されていないが、「青年日本語教師長期派遣事業」というものである。これらはともに基金本部の日本研究部日本語課という部署が担当している。

これら二つの事業によって海外に派遣されている人数は1998年9月4日現在、日本語教育専門家（以下「専門家」と略す）が計33か国、82名（大学・在外日本大使館等の日本語講座・教育省等に派遣）、また青年日本語教師が6か国、21名（中等教育機関、大学、教育省等に派遣）となっている。インドネシアに

は、専門家9名（ジャカルタ日本語センター4名、マナド教育大学、バンドン教育大学、スラバヤ教育大学、ガジャマダ大学、北スマトラ大学各1名）及び青年日本語教師4名（マナド地区、バリ地区、メダン地区、スラバヤ地区各1名）が派遣されている。（なお、1998年8月まではインドネシア大学及びパジャジャラン大学に各1名、またガジャマダ大学にもう1名、専門家が派遣されていたことを付記しておく。）

ところで基金の事業資金がどこから出ているかということだが、これもホームページから抜粋すると、「運営は、政府支出金の運用益、ODA予算を含む政府からの補助金および民間からの出資金・寄付金により賄われて」いる。

以上述べたのは基金の東京本部が行っている事業であるが、世界各地の拠点レベルでの活動を支えるため、いくつかの国に日本文化センターまたは日本語センターが設置されている。ここインドネシアのジャカルタにも昭和54年（1979年）に日本文化センター（日本語センターも併設）が開設され、以来、日本とインドネシアとの相互理解と友好親善とを目的とした様々な事業を行っている。ここで再び羅列になってしまうが、ジャカルタ日本文化センター（Pusat Kebudayaan Jepang）の事業内容を以下に記載する。

#### 日本語センター事業部（Bagian Pusat Bahasa Jepang）

##### [主な日本語普及事業]

- ・ 情報提供、情報交流
- ・ 教師研修会、セミナーの実施
- ・ コンサルティングの実施
- ・ 日本語講座の運営
- ・ 図書、教材ライブラリー
- ・ 日本語教育機関への援助、協力      他

#### 文化交流事業部（Bagian Kebudayaan）

##### [主な文化・学術交流事業]

- ・ 演劇、音楽、舞踊等日本からの文化使節による公演実施
- ・ 絵画、工芸、写真等日本文化の展覧会の実施
- ・ 日本映画上映会、映画祭実施
- ・ 日本文化に関するセミナー、講演会実施
- ・ テレビ局への映画、ドラマ等番組提供
- ・ 学者、芸術家等の人物交流、派遣・招へい事業
- ・ インドネシアにおける日本研究促進事業
- ・ 日本関係図書寄贈
- ・ 生け花教室、囲碁教室

- ・図書館運営
- ・インドネシア文化の日本への紹介 他

このような機関、国際交流基金から派遣されて、ここマナドにおいて家田・村上とも、学生・生徒の日本語教育及び教師研修を行っているわけである。それぞれの業務の詳細については、次号の会報にてご紹介しようと思う。

ここで突然・・・

### マナド日本映画祭のお知らせ

来る3月1日から7日間、マナドにおいて、「マナド日本映画祭」を開催することになりました。北スラウェシ州は、インドネシア全土の中で見ても日本語教育が特に盛んな地域ですが、現在の状況では、せっかく日本語を勉強しても日本文化に実際に触れる機会が非常に少なく、いかにも残念なことです。そこで、当地で日本語を勉強している大学生・高校生はもちろん、一般市民の皆様にも日本映画を通じて日本文化に触れてもらう機会を設けようではないかというコンセプトの元に、「マナド日本映画祭」を実施することになりました。マナドで日本映画が上映されるのは、少なく見積もってもなんと15年ぶり、まとまった上映となるともちろん初めてのことです。

上映作品はただ今検討中ですが、すべてインドネシア語字幕付きのものを8本（各2回）上映する予定です。場所はマナド市内の映画館「Studio 21」の中の劇場を一つ、1週間借り切って行うべく交渉中です。入場無料、もちろん、在留邦人の皆様の来場も大歓迎です！

現在はマナド教育大学日本語学科の教員、マナド近辺の高校の日本語担当教員、及び家田・村上で実行委員会をたちあげ、国際交流基金ジャカルタ日本文化センターの協力の元に準備を開始したところです。また、在インドネシア日本国大使館及び在ウジュン・パンダン日本国総領事館のご協力も得る予定です。

日本人会の皆様には詳細が決まり次第随時お知らせする心づもりではありますが、新聞・テレビ・ラジオ・横断幕・ポスター等による告知も行う予定ですので、そちらにもどうぞご注目ください。

初めての試みですので、日本人会の皆様には何かとご協力を仰ぐことになると存じますが、その節は、何卒よろしくお願い申し上げます。

北スラウェシ日本人会の方々は皆さん「バイリンガル」または「マルチリンガル」だと思えます。この「バイリンガル」という言葉はご承知の通り、2つの言語を使用することができる人のことを指します。また、3つ以上の言語を使用できる人のことを「マルチリンガル」と呼びます。しかし言葉が煩雑になるのを防ぐため、ここでは「マルチリンガル」も「バイリンガル」に含めて考えることにします。

実は一言で「バイリンガル」と言っても、その「バイリンガル度」には様々な段階があります。つまり2つの言語、たとえば日本語と英語との言語の四技能（読む・書く・話す・聞く）全てが全く同じように完璧にできるという「トータル・バイリンガル」という段階から、1つまたは2つ以上の技能においてどちらか一方の言語が劣るという「パーシャル・バイリンガル」の段階までがあります。例えば日常会話には支障ない程度のインドネシア語が使えなくても、商用の書類を読んだり書いたりとなるとちょっと・・・という日本人ビジネスマンのような場合です。しかし今回のテーマはこのことではありませんので、この点についての細かい議論は抜きにしておきましょう。

さて皆さんは、中学校・高校、そして大学で英語を学ばれたことと思えます。また、もしかしたらフランス語やドイツ語、中国語、韓国語などを学んだ方もいらっしゃるかもしれません。そして今ここで私たちがより多く接する言語がインドネシア語です。

これらの外国語を学んだ経験から、外国語上達の秘訣は何であると実感されましたか。これは人によって本当に様々だろうと思えます。たとえば、とまかくできるだけ単語を覚えることが有効だったという方がいらっしゃるかもしれません。良い文法書が何よりも大切だったかもしれません。それとも恥ずかしながらともかくその言語を使うことが重要でしたか？ 試験試験と追いまわられることがかえって効果的だったという方もいらっしゃるかもしれません。毎日欠かさずに聞いたラジオ講座のおかげという方もいらっしゃるでしょう。またその言語を話す恋人を作ることが有効というのも一理あると思えます。いや、結局は言語に対するセンスの問題だと思われる方もいらっしゃるかもしれません。

では次に皆さんが外国語を学ばれたその動機は何でしたか。この質問に関しては、学校で習わなければならなかったからという方が英語の場合大半を占めると予想されます。でももしも大学で外国語を専攻された方がいらっしゃったら思い出していただきたいのですが、どうしてその言語を専攻しようと思われましたか。日本の大学入試のシステムでは、偏差値によって自ずと進学先が決

まってしまうような場合もあるでしょうが、でも、たとえば英語がぺらぺらになれたらカッコいいとか、フランス語で愛を語れたらロマンチックだろうとか、これからは中国語ができたら就職に有利そうだなとか、そういった理由で外国語を専攻する人も多いと思います。

外国語学習の動機に関する研究も外国語教育研究の重要な一分野です。この動機の分類に関しては研究者の間でまだ完全なコンセンサスができていないのですが、現在よく使われる分類によると、外国語学習の動機は以下の3つに分けられます。

- (1) 「統合的動機 (integrative motive)」：「日本人の友達を作りたいから」とか「日本社会の一員になりたいから」というような動機
- (2) 「道具的動機 (instrumental motive)」：「日系企業への就職に有利だから」とか「日本へ旅行したいから」というように、外国語を何らかの手段としてとらえる動機
- (3) 「誘発的動機」：「兄姉が日本語を習っているから」とか「(大学で) 単位が取りやすそうだから」といった、外国語学習自体は目的となっていない動機

これら3つの動機のうちの動機を持つ学習者の割合が多いかということは、学習者の属する環境や文化的背景によって異なります。たとえば同じ日本人大学生を例にとって考えてみても、(a) 英語専攻の大学生のグループと、(b) 一般教養科目の一つとして勉強している音楽学部の学生のグループとを比較した場合、上記(1)~(3)の割合は異なると考えられますし、また、(c) 会社帰りに英会話を習っている日本人会員のグループと、(d) 移民としてアメリカで英語の勉強をしているメキシコ人のグループとを比較した場合には(1)~(3)の割合は全く異なるであろうと容易に想像できます。皆さんは、(a)~(d)のそれぞれのグループで、(1)~(3)の動機のうちの割合が高いだろうと予測されますか。

では、外国語学習の動機と成績とは関係があるのでしょうか。バンコクのある大学で日本語専攻の学生の日本語学習動機と成績との関係を調べた最近の研究によると、「統合的動機」の強い学習者の成績が高く、「誘発的動機」の強い学習者の成績が低い傾向にあるという結果が出たそうです。この研究では、このような場合、教師は「誘発的動機」の強い学生が「統合的動機」を持てるような機会を与える必要があるとしています。そのための有効な手段としては、例えば日本人との交流の場を提供する必要があると述べています。

ただここで注意すべきなのは、これはあくまでもある一つの大学において44人の学生に対して行われた1度だけの調査に基づくデータによるものなので、他の大学で同じ調査を行ったらこれとは異なる結果が出る可能性が大いにあるということです。マナド教育大学でこのような調査を行ったら、どのような結果が出るのでしょうか。実に興味のあるところですよ。



マナドへ来て2ヶ月経ちました。

喜多 和

皆さんはじめまして。私は10月から来年の8月までサムラトランギ大学で勉強することとなりました喜多 和(きたまどか)と申します。文部省の短期留学推進派遣留学生として琉球大学から参りました。

この留学制度は「国立大学が、学生交流に関する協定等を締結している外国の大学へ学生を派遣する場合に、当該国立大学から派遣される学生に対して国が奨学金を支給し、諸外国の大学との留学生交流にいつそうの拡充を図り、相互の教育・研究水準の向上に資するとともに、各国間の相互理解と友好親善を増進する」というもので、全国から毎年250名、各国へ派遣されています。私の琉球大学でも、インドネシアを含めタイや中国、アメリカ合衆国など数カ国の大学と姉妹協定を結んでいます。私は東南アジアに興味があったので、インドネシアに希望をしました。運良く奨学金を得る事ができ、姉妹校のサムラトランギ大学に来ることになりました。マナドに来たのも以上のような理由からです。

ところで、私は機械システム工学を専攻しています。機械システム工学というのは、自動洗濯機などボタンを"ピッ"と押せば後は洗濯機がしてくれるというようなオートメーションについて勉強する「制御」、自動車のエンジンなど物を動かす動力源について勉強する「熱」、ゴルフボールにどのような溝を作ると飛びやすくなるかというように、空気や水の流れについて勉強する「流体」、日本刀など鉄を熱くしてトントンたたき造っていくという過程で、何度に温めどのぐらいたたけばいい刀ができるかというように、金属の性質について勉強する「材料」の4本柱を基本に成り立っています。

そんな工学部の学生がなぜわざわざ日本からインドネシアに来たのか疑問に思われると思います。私もそう思われて当然だと思います。

大学1年生のとき、原子力発電所を見学して、科学技術の発展と人間生活の営みのずれは、すでに単純な問題ではないと思いました。原子力発電の先端技術のすごさは目を見張るものがありますが、その一方で、ごく初歩的なミスが後を絶たないようです。例えば、放射能に汚染された液体を流す管があるのですが、これは大きな1本の管に通すのではなく、直径5 cm ぐらいの何千本もの管に分けて通します。その管の列ごとに支え棒を通し振動を抑えるのですが、定期検査でその棒を取り替えた時、作業員が真直ぐ通せばよかったものを、少し横道にそれてしまい隣の列までかんだままである事を気づかずに、作業を終わらせてしまいました。使っているうちにその部分の管にき裂が入り、蒸気が漏れ、原子炉の中が高熱になったと言う大変危険な事故がありました。

この管を通すのは特別難しい作業ではありません。人間の英知をかけてどんなに凄いものを造ろうとしても、失敗やミスを起こす人間がそれを支えている事を忘れていたという事故だったと思います。

これに対する電力会社の説明も「失敗した原因は下請けのメーカーのミスです。」と一見電力会社の失敗ではないようなことをいうのですが、「蛇が林檎を食べろというから食べた。」とイブの言い訳をどこか連想させるものがあったと思います。

こういったことから、技術者個人個人が自覚を持って仕事をしなければいけないこと、そして、その組織も充実していなければいけないということを改めて思いました。また、現在の開発における問題を克服するにはどうしたらよいかと考えると、技術だけの問題に止まらず、むしろ社会を動かしている行政や民間が、大きく関わっていると思います。ですが、技術と生活が大きくかけ離れている面があるので、技術者という専門的な立場をそのような事に役立てたいと思っていました。

また、首長族など変わったところも好きですし、手掴みでご飯を食べることも面白いと思います。そういった生活に憧れもあり東南アジアには興味がありました。そして、日本が豊かであるのは発展途上国の上に成り立っていることは言うまでもありませんが、そのような発展途上国の生活がどのようなものであるか関心があり、留学する事で多くの事を学びたいと思っていました。

実際インドネシアへ来てみると意外なことばかりです。こちらに来る前は「共感」や「共存」などの意識が芽生えたらなどと思っていたのですが、今ではそれがとても難しいものだ実感しています。最近では自信もなくなってきましたが、これも勉強だと思って気を引き締め直しています。

日常生活は楽しくやっています。ここは発展途上国なので、学校の授業の内容や学生の質はどれくらいなのか心配していましたが、学生は先生から出された問題に、難しい公式など覚えていてそれを使いさっさと計算をしています。一方先進国から来た私はクラスメートから解き方をおしえてもらいながら、「あー、そんな公式もあったなあ」と勉強不足を痛感させられています。

また学生は先生の家まで行って勉強を教えて貰おうとすることにも驚きました。

授業が始まって2週間目ぐらいのことです。Sore時に友達が突然家までやってきて「今から実験のレポートをルディ先生にみてもらおう！」というのですぐ済むものかと思い、私もレポートをもって玄関を出ると、車とその中に2人の学生が待っていました。とりあえず車に乗りたわいもない話をしていた、10分ぐらいしてもつく気配がなく、だんだん時計が気になり始めました。小さい道に入り、舗装道路もとぎれ車もガタンガタン揺れ、荷物を馬に引かせる人とすれ違うようになった時に友達が「先生の家はここから20分ぐらいかかって、ちょっと遠いけれど我慢してね。」というので、インドネシアでは噂通りのんびりするのがポイントだと思いました。

先生の家に着くと先生は庭の手入れをしていました。私は先生に「Apa kabar?」と尋ねると「Baik-baik, very fine!」と笑顔で返してくれました。（実はルディ先生はこの日、無断欠席をして授業がつぶれたのです。）ルディ先生は学校では怖いと聞いていたのですが家では親近感があって、冗談など言って、その中には爆弾発言もありました。

車を運転してくれていたマイケル君には子供がいるというのです。まさか学生の分際で10年早いと思い、嘘か本当か確かめるために、男の子か女の子か聞いてみると友達がマイクを奪うようにして、「女の子で奥さんは中国系のかわいい人だと」いい、「でも子供がいるのは秘密のだから」と言うのです。ルディ先生も「秘密は秘密でも皆知っている秘密で、オープンシークレットなんだ、ガッハッハッハ!」と笑っていました。ドアの側に立っていたマイケル君は恥ずかしそうに煙草を吸っていました。

このように日本では予想もつかなかった事があって、毎日インドネシアの生活を楽しんでいきます。

慣れない外国生活でこれからも皆様にご迷惑おかけすると思いますが、また日本人はすくないので、いろいろアドバイスを頂けたらとても嬉しく思いますので、その時はどうぞよろしくお願ひします。



(上) 実習中の真剣な眼差し  
(右) クラスメートと楽しいひととき



## 国軍階級に関して

～～ インドネシア軍人は「PRADA」のバッグを見て、「二等兵」を連想するか？ ～～

在マナド 辻田 武司

インドネシアでは何かと表舞台に立つことの多い国軍ですが、その存在を抜きにしてこの国を語ることはできません。新聞記事・テレビニュースから、寄付依頼書、いやまた警察からの呼出状まで、日頃より大変お世話になっています(?)。そこで理解の一助として、次の表をまとめてみました。"この人"は"あの人"より階級が上だ、と知っている、時には役に立つこともあるでしょう。ポイントは制服の肩や襟の階級章で、「赤色よりは黄色、矢型よりは線がエライ」と覚えましょう。星組や花組とはあまり会いませんからね。星組、花組(夕〇〇〇カみたい?)軍人と会うような方は、こんな情報は御存知だと思います。

インドネシア共和国陸軍階級表

	階級	略称	日本語	階級章
Perwira tinggi opsir (将官)	jenderal	jend	大将	☆☆☆☆ 金星
	letnan jenderal	letjen	中将	☆☆☆ 同上
	mayor jenderal	mayjen	少将	☆☆ 同上
	brigadir jenderal	brigjen	准将	☆ 同上
Perwira menengah (佐官)	kolonel	kol	大佐	⊗⊗⊗ 金花
	letnan kolonel	letkol	中佐	⊗⊗ (ジャスミンの花)
	mayor	may	少佐	⊗ 同上
Perwira bawahan (尉官)	kaptен	kapt	大尉	黄線
	letnan satu	lettu	中尉	同上
	letnan dua	letda	少尉	同上
	calon perwira	capa	士官補	⋮ 黄破線
	pembantu letnan satu	peltu	中尉付副官	↘↘ 黄ジグザグ線
	pembantu letnan dua	pelda	少尉付副官	↘ 同上
Bintara (下士官)	sersan mayor	serma	曹長	<<<< 黄矢型
	sersan kepala	serka	軍曹	<<< 同上
	sersan satu	sertu		<< 同上
	sersan dua	serda		< 同上
Kopral (下士官)	kopral kepala	kopka	伍長	<<< 赤矢型
	kopral satu	koptu		<< 同上
	kopral dua	kopda		< 同上
Prajurit (兵)	prajurit satu	pratu	一等兵	赤線
	prajurit dua	prada	二等兵	同上

警察も同様だが、階級名の後に警察を表す "Polisi" を加える。

(略称の場合は "Pol." を加える。例: Letkol. Pol. )

海軍、空軍は階級の名称が一部違うが、ここでは省略。

公式資料を基にしたものではありません。誤記ありましたらお知らせ下さい。

皆さんの中には業務や研究等で居住地を離れ各地に行かれる方もいらっしゃると思います。マナドのような町では医療の問題はそれほど不安ではないと思いますが、わが北スラウェシ州でも山間部や島嶼部では、まだまだ無医村状態の地域があり、医療環境も充分というには程遠いでしょう。このような場所で病気に罹った場合、医者にかかることができないという可能性は大です。また残念なことに医者のレベルが低いこともあります。自分の生命を守るのは自分自身ということになります。

筆者は学生時代、探検部でイリアンジャヤの山岳地域を訪れたことがあります。最寄の村まで山を越えて徒歩1週間という所もありました。もちろんそれなりの心構えは有りましたが、誰も自分が病気になるとは思わないものです。そんな時、メンバーの一人がコレラになりました。(素人判断はいけないのですが・・) 携行していた抗生剤を服用し、休養したおかげで回復も早く、その後の行動にも支障は出ませんでした。日本で医者と相談して抗生剤を処方してもらっていたので助かりました。

疲れを溜めないように余裕を持った生活は、病気を予防するという意味で大変重要です。しかし私たちはなかなかそのようにできないこともあります。そこで出張等の時にはいくつかの医薬品を携行することをお勧めします。また、地方で生活されている方も常備しておいて損は無いと思います。但し、医療機関による援助を受けられる場合はそれを求めるべきであって、自分自身で治療してはならないというのが原則です。医者にかかるまでの応急処置的なものと考えておいた方が良いでしょう。

次頁に携行常備薬の一例を挙げます。

これらの薬品の多くは本来はインドネシアでも医師の処方箋が必要です。

しかし実際は薬局で普通に販売しています。それぞれの薬品によって、成分配合が違うので購入時に服用方法を薬剤師と十分確認して下さい。子どもや妊婦に使用する場合、又は持病の有る場合は特に事前に医師、薬剤師と相談して下さい。ここでは内用薬に限りませんが、応急処置に必要な滅菌ガーゼや包帯等の衛生材、殺菌消毒剤も用意すべきです。また状況によって使い捨て注射器、注射針を携行する方が良いかもしれません。

今回はマラリアに関しては触れていません。筆者もマラリアで苦しい目に会いました。興味を持って勉強もしましたが、北スラウェシ日本人会の皆さんに向けて素人が書くのも何ですから、次の書物を紹介しておくに留めます。

「旅行者のためのマラリア・ハンドブック」 凱風社 1998年  
マルティーン・モレール著 松永秀典訳

お断り：本稿に起因するいかなる結果に対しても筆者は責任を負うものではありません。商標はインドネシア国内で入手し易いと思われるものを挙げましたが、取捨選択に特に意図はありません。

1998年11月作成

参考文献：

「海外で健康に暮らすための手引 第5版」 渡辺義一 近代出版  
「伝染病予防必携 第4版補訂版」 重松逸造 他編 (財)日本公衆衛生協会  
「INFORMASI SPESIALITE OBAT INDONESIA」 ISO INDONESIA, IKATAN SARJANA FARMASI INDONESIA  
「抗菌薬インターネットブック」 <http://www.aceart.co.jp/antibiotics/frame.html>

携行常備薬の一例

generic表示(一般名)	日本での名称	効果・注意事項	商標の例
Aspirin Parasetamol Asetaminofen Metampiron	アスピリン パラセタモル アセトアミノフェン メタンピロン	解熱、頭痛、筋肉痛その他の痛み 一時的効果	ASPIRIN BIOGESIC NEURALGIN PANADOL PONSTAN SUMAGESIC UNAGEN
Vitamin B1、B2、B6、B12	ビタミン B1、B2、B6、B12	神経、筋肉、関節の痛み 病後の回復期に服用	BECOZYM HI-BESTON
Doxycycline	ドキシサイクリン	急性下痢、尿路感染症、淋病、ダニに媒介される各種の伝染病、多くの熱帯伝染病、マラリアの予防内服 有効範囲が広い 服用中は日焼けし易い TetracyclineあるいはDoxycyclineを服用してショック、発疹等を起こしたことのある人は使用できない	BANNDACLIN DOXYCLINE DUMOXIN INTERDOXIN SICLIDON VIADOXIN VIBRAMYCIN
Ampicillin Amoxillin	アンピシリン アモキシリン	扁桃炎、肺炎、気管支炎、中耳炎、尿路感染、細菌性赤痢、皮膚化膿、腸チフスなどのサルモネラ症 ペニシリン系の薬を服用してショック、発疹等を起こしたことのある人は使用できない 扁桃炎では黄色のぶつぶつや膜が見えない時は服用してはならない	AMCILLIN AMOXIL AMOXILLIN BINOTAL DANCILLIN KALPICILIN TOPCILLIN
Trimethoprim -Sulfamethoxazole	スルファメトキサゾール ・トリメトプリム	細菌性赤痢、チフス、コレラ、大腸菌その他による下痢、肺炎、気管支炎、髄膜炎 他の抗生物質が使えない場合、あるいは効果のない場合に使用 スルファ剤に対してショックを起こしたことのある人は使用できない	ABATRIM ALTRIM BACTOPRIM BACTRICID BACTRIM DUMOTRIM HEXAPRIM KAFTRIM
Anti-spasmodic	抗けいれん剤	胃腸のけいれんからくる痛み、胆石症、尿路結石等の差込むような痛み	BUSCOPAN BUSPIRON HOLOPON LIBRAX SPASMACINE SPASMOTRAN
Antihistamine	抗ヒスタミン剤	じんましん、アレルギー性皮膚炎、湿疹、かゆみ、アレルギー性鼻炎	BUFAGAN HISTAPAN IKADRYL INCIDAL
Ciprofloxacin	シプロフロキサシン	赤痢、腸チフスを含む下痢症、肺炎、尿路感染症、皮膚感染症、骨および関節の感染症で他の抗生物質が効果のない場合に使用	BAQUINOR CETAFLOXO CIPROXIN KIFAROX
oral rehydration salts (ORS)	下痢用経口輸液	下痢時の水分塩分補給、発熱発汗時には塩分が多すぎるので大量に用いないこと 《garam obat muntah-berakoralit》	BIORALIT ORALIT OTTOLIT

注) 商標の例はインドネシアで流通しているもの

# 酒の「重み」違う日本と欧米

三菱商事診療所長  
山田 隆治

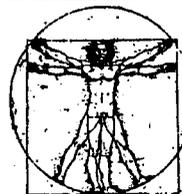
肝臓の病気、特に肝硬変という言葉を知って、みなさんがまず最初に頭に思い浮かべるのはアルコールとの関連だと思えます。確かに欧米諸国では肝硬変の約80%近くがアルコール性肝硬変で占められており（メキシコ82%、米国78%、フランス76%）、肝硬変とアルコールは非常に密接な関係を持っていますが、日本では肝硬変の約80%は肝炎ウイルスに起因すると言われていています（特にB型、C型肝炎ウイルスの関与）。

しかし、近年日本においても食生活の欧米化とともにアルコール消費量は年々増加の傾向を示し、1994年の国税庁の発表では、成人1人当たりの年間飲酒量は純アルコール量で8.7ℓ（人口1人当たりでは6.6ℓ）にもなり、これは350mlの缶ビールに換算して約500缶に相当します。そのうえ、毎日酒を飲んでいる人の割合は男性で30~40%、女性で5~10%と報告されているので、毎日飲酒する人は実際にはこの何倍かの量のアルコー

## アルコールと肝臓 ⑤

ルを間違いなく飲んで計算になります。

ちなみに、94年の世界各国人口1人当たりのアルコール消費量上位3カ国は、



海外生活  
健康  
マニュアル

ルクセンブルク、フランス、ポルトガルの順で、純アルコール量に換算して約12~10ℓにもなり、消費量23位の日本人の約2倍もあります。しかし、20年前と比べてヨーロッパ各国の飲酒量は年々減少してきており、逆に日本は先進国の中で

は年々増加しているのが特徴です。

私たち肝臓の専門医は、よくアルコール性肝障害の患者さんを診察するときに「常習飲酒家」とか「大酒家」という言葉を使います。「常習飲酒家」とは、日本酒換算で1日平均3合以上飲む人。「大酒家」とは、日本酒換算で1日平均5合以上を5日間以上継続して飲む人のことです。また、日本酒1合、ビール大瓶1本、ウイスキーダブル1杯は、それぞれ純アルコール量で約22gに相当し、これを肝臓で処理するには約3時間ぐらいかかるということも基礎知識として覚えておいて下さい。

さて、日本人はいったいどれぐらいのアルコールを飲んでると肝硬変になるのか？結論から言えば毎日、日本酒に換算して5合以上の飲酒を10年以上続けた「大酒家」であっても、純粋にアルコールだけが原因で肝硬変になる確率は約20%ぐらいです。でも、この数字を意外に少ないなど感じている人は要注意です！

# 1日2合以下、毎週「休肝日」を

三菱商事診療所長  
山田 隆治

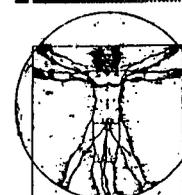
海外で生活する人たちはビジネスやパーティーでの飲酒の機会が男女を問わず多いことと思います。そこで今回は飲酒量と肝障害の話です。

一般に肝臓が分解できるアルコール量は体重1kg当たり100~200mg/時間であり、体重60kgの健康人が一日に代謝するアルコール量は純アルコールで150~200g前後です。しかし、これは理論上の計算であり、肝臓の専門家による研究では、日本酒換算で毎日5合以上飲む「大酒家」が10年以上続けて飲酒した場合は、肝硬変になる確率が極めて高いという結論が出ています。

肝硬変にまで進行しない場合でも、一般には日本酒換算で3合以上を5年以上続けて飲むとアルコール性脂肪肝やアルコール性肝線維症になり、更に10年以上飲み続けると肝硬変に進行してしまいます。アルコール性脂肪肝や肝線維症は中程度の飲酒家によくみられ、無症状の場合がほとんどで、アルコール性肝障害の

## アルコールと肝臓 ⑥

中では最も軽く、早期に禁酒すれば治ります。しかし、普段から酒を飲み続けている人が何日か集中的な大量飲酒を繰り返すとアルコール性肝炎のような重病を引



海外生活  
健康  
マニュアル

き起こし、時には急性肝不全になり昏睡状態を併発、死亡することもあります。

こうした肝炎を繰り返して起こしていると次第に肝硬変に進行していきます。実際に肝硬変になってしまうと、胸部や上腕にピンの頭のような赤い血管を中心と

して蜘蛛の足のように放射状にのびた毛細血管の拡張（蜘蛛状血管腫）が見られたり、手のひらが赤くなったりします（手掌紅斑）。腹水がたまったり、黄たんや肝臓、脾臓の腫れも出現したりして、時には食道静脈瘤を生じ、これが破裂、大出血で死亡することもあります。肝臓がんの合併も40%に認められ大変怖い病気です。

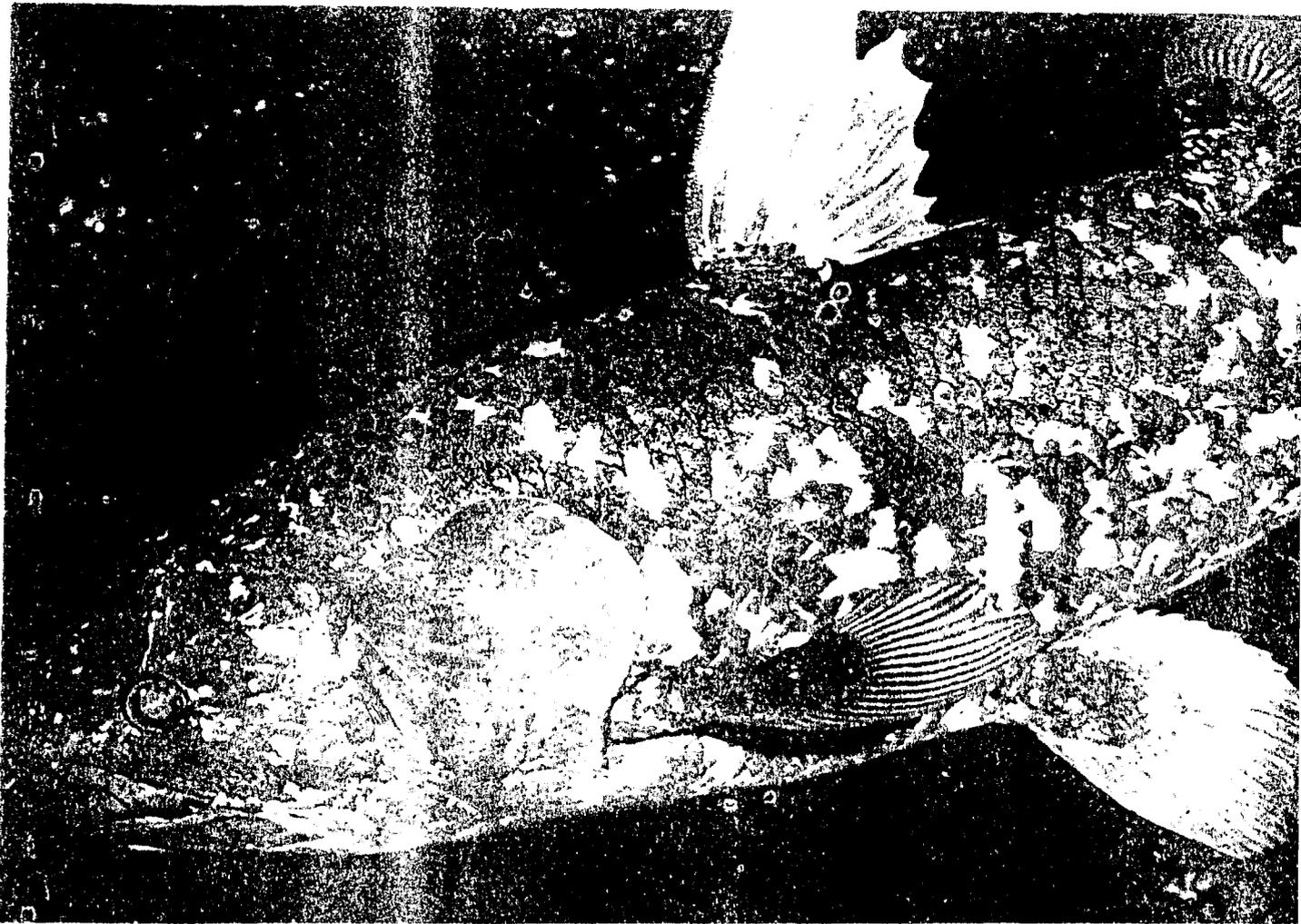
しかし、厄介なことにアルコールによる肝障害は徐々に進行し、ある時期まで無症状で経過する場合が多いので、大酒家や常習飲酒家で食欲がない、全身がだるい、やたらにおなかが張って苦しいなどの症状のある人は、直ちに肝臓専門医に診てもらい、肝機能検査（GOT、GPT、γ-GTPなど）や腹部超音波検査などを受ける必要があります。

結論として、酒を楽しみながら飲んで肝臓を悪くしない唯一の方法は、一日量を日本酒換算で平均2合以下にとどめ、週1~2日の「休肝日」を設けることです。

# ブラウエシの海 シーカンス

八巻宏之

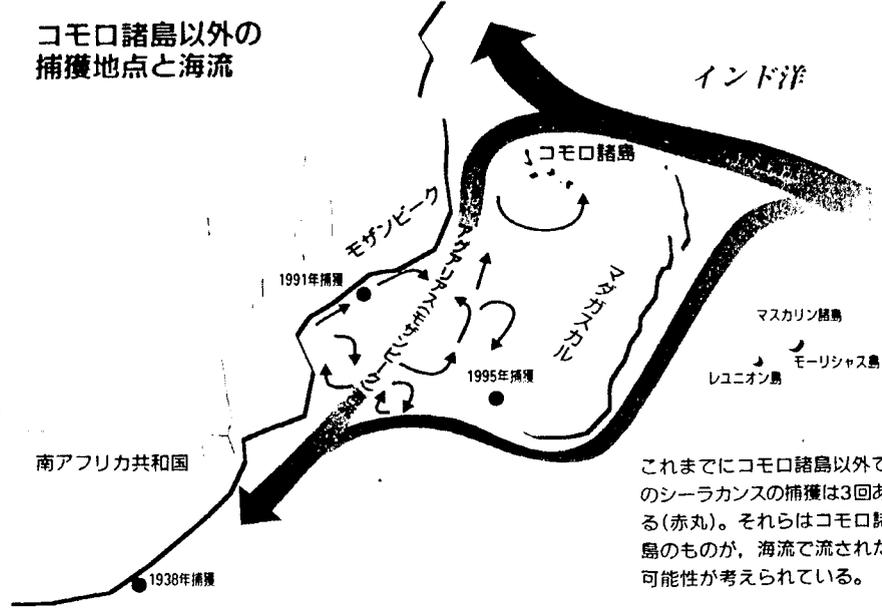
約40億年前に地球上最初の生命が誕生してから現在に至るまでさまざまな生き物達が生活環境に巧みに対応し進化を繰り返してきた。一方では古代から進化の速度をゆるめ生息域を到達のより困難な場所に移し外敵から身を守りひっそりと暮らしてきた「生きた化石」と呼ばれるほとんどその姿を変えず今日まで生き延びた生物もいるのである。



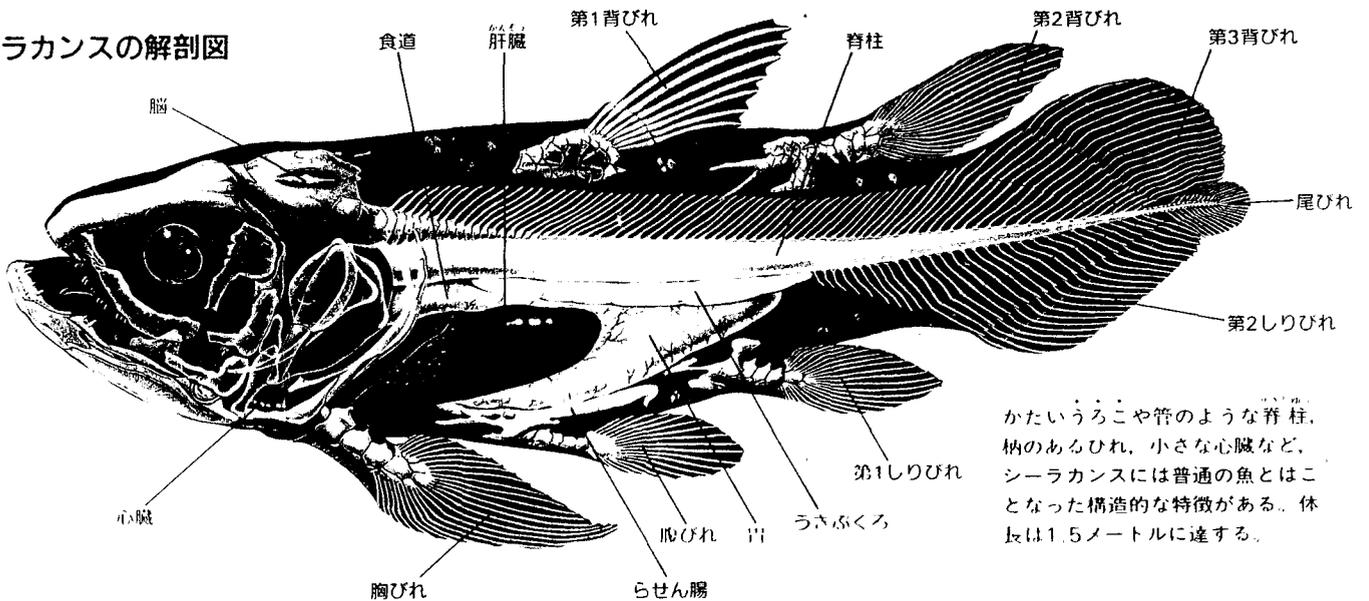
時はおよそ4億年前の古生代にその魚の祖先が生まれたと考えられている。一般的にシーラカンスと呼ばれるこの魚は、中生代(2億5000万年前)の化石から柄のある原始的な4本のひれが脊椎動物の4本足の前駆であるとみなされていた。

そして、センセーショナルな出来事が起こった。1938年南アフリカ共和国のマージョリー・ラティマー女史によってシーラカンスが発見され捕獲されたのだ。それまで化石でしかお目にかかる事のできなかった原始の魚が今も地球上に生息していた事により学术界に魚類と四足動物の間のミッシング・リンク(失われた鎖)として論争を巻き起こした。シーラカンスはジェームス・スミス氏によって *Latimeria chalumnae* 命名され現在までに多くの研究者の手によって研究報告され、四足動物の前駆ではなかった事、普通の魚とは異なった構造的な特徴を持つ事(固いうろこ、管のような脊柱、柄のあるひれ、小さな心臓)雌の胎内でふ化し成長する卵胎生魚である事などが解ってきた。

コモロ諸島以外の捕獲地点と海流



シーラカンスの解剖図



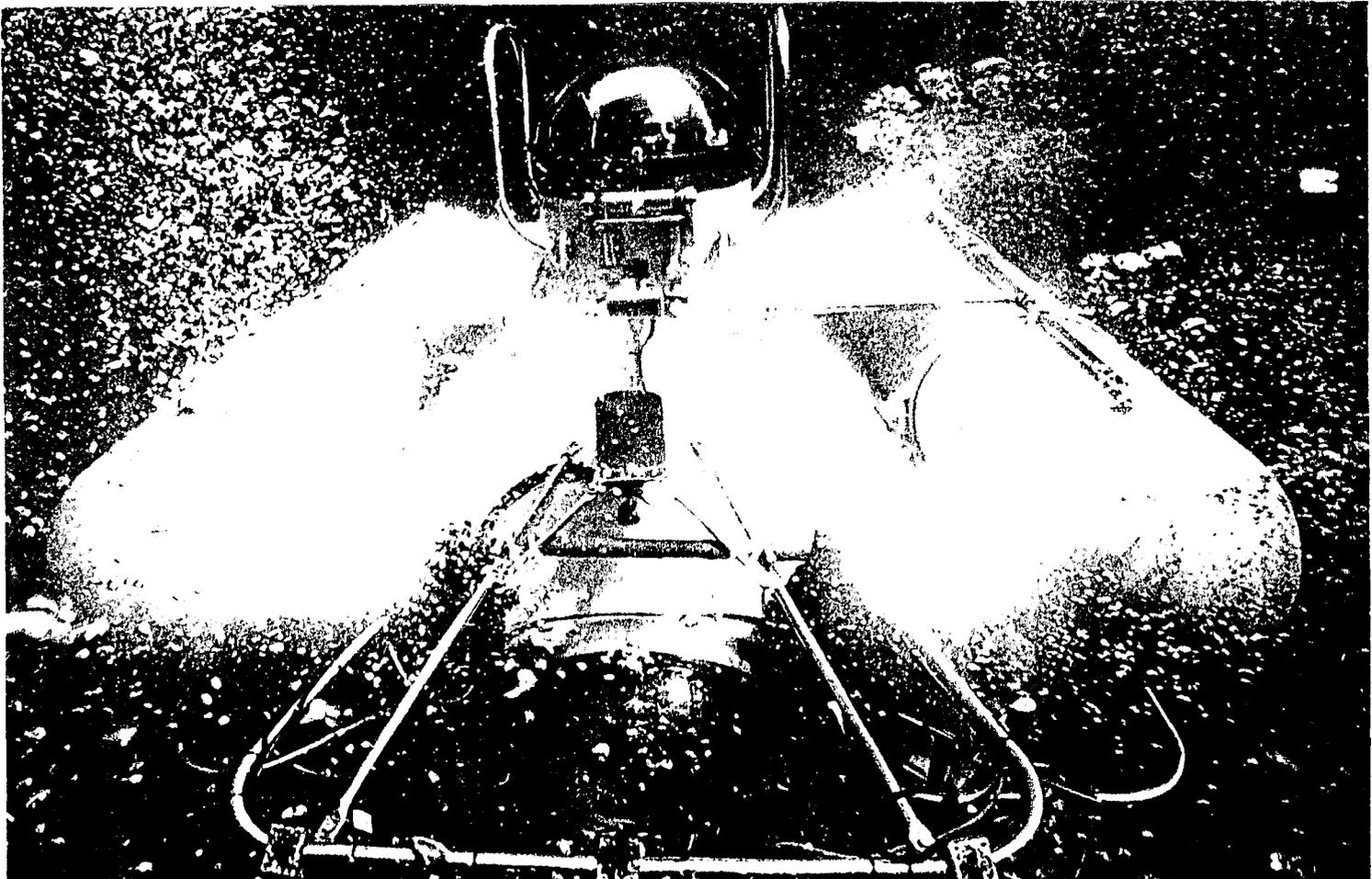
かたいうろこや管のような脊柱、柄のあるひれ、小さな心臓など、シーラカンスには普通の魚とはことなつた構造的な特徴がある。体長は1.5メートルに達する。

1998年8月 Manado

1938年の発見から60年間のあいだその姿を南アフリカのコモロ島近くでしか見せなかったシーラカンスがなんと、インドネシアにも生息していたのである。それもわれわれにとって身近と言ってもよいメナド。トゥア島とブナケン島の間で漁師によって釣り揚げられ、たまたま新婚旅行で Manado を訪れていたアメリカの生物学者マーク氏によってカリフォルニア大学へ送り届けられた。DNA鑑定によりアフリカ種とは異なったインドネシア種である事がほぼ確実となった事によりインドネシア政府には100団体をこえる各国の研究者から打診が相次いでいるそうだ。メナド。トゥア島は、アフリカのコモロ島と同じく火山島で周囲をドロップオフ(一気に深海まで落ち込む崖のような地形)で囲まれており、シーラカンスの生息水深150m~800m以上と言う条件を満たしている。

コモロ島での研究例としては潜水艇を使いシーラカンスの「巣穴」を探し超音波発信機をシーラカンスに付けてその生息行動を観察したり、写真を撮り体表にある独特の模様から100固体以上の固体判別をし研究を行っている。

“インドネシア産シーラカンス”の研究はこれから幕を上げる訳だがどうか有意義な研究をしてほしいと願うのは私だけではないだろうと思う。コモロのハンス・フリッケ博士の様に自然に生きたままの生態を研究する方法や捕獲して飼育をする方法などいくつか考えられるのだが現在問題となっているのは仮に捕獲出来たとしてもそれを生きたまま輸送する方法、飼育する方法が確立されていないと言う事である。ただやみくもに捕獲合戦をするような事だけはしてほしくないものである。事実コモロでは乱獲により固体数が激減していると伝えられており、これからは保護を中心とした研究になるだろうとの事だ。



Manadoでは早々と、日本のとある水族館とともに観賞魚輸入業者が調査準備をはじめた。一部では、日本人がシーラカンスを捕獲して水族館に展示して金もうけを企んでいる。と根も葉もない噂や、新聞記事まで出るくらいなので今後の調査は十分な相互理解の上に進められなければならない。この相互理解が難しいのだ。誰もが自分の手で研究したいと思うのは仕方のない事だろうとは思う。だが皆で協力して研究できるような施設を Manado に作って調査研究するという方法もない訳ではない。そうすれば必要以上に捕獲する事無く、インドネシアの海洋生物学の発展にも結びつくのではないだろうか。

### 環境保護

今年、Manado のダイブオペレーターを集めて通称 海の自然環境を守る会が発足した。ナショナルマリンパーク内でのダイビングやマリンレジャーが周辺海域の生物達に悪影響を与えないようにボートのイカリ使用を制限したりゴミの廃棄問題を話し合ったりしている。近年、世界的に珊瑚が白化する現象により珊瑚礁域をすみかとする魚が減少して生態系にも影響を及ぼす事が懸念され始めた。原因は海水温上昇によって珊瑚の中に共生している褐虫藻がぬけてしまい残された珊瑚は死んでしまい白くなってしまふのだと考えられている。大気汚染による異常気象説と言う説もあり今後一層の環境保護が求められている。私は、初心者のダイバーが足や、手で珊瑚を折ってしまうのを目にする。決して悪気があるのではないのだが注意一つで珊瑚や、他の生き物たちを守り始めて海の恩恵を受ける事が出来るのだと思う。生き物には寿命と言うものがあり自然にそれを受け入れるほかない。ただわれわれ人類は、魚たちと違い病気を治療し延命をする事が出来き、その反対に絶滅させてしまう事も出来るのだ。



Colour sand grey black (unsp)

Length 44 in

発見当時にラティマー女史がえがき、スミス博士に送ったシーラカンスのスケッチ。

## ゴルフプレーのお勧め

北スラウェシ州日本人会 ゴルフ愛好者の会  
牛崎 英次郎

皆さん ゴルフをされたことはありますか？

一度プレーをされた方なら、その得体の知れない魅力に取り付かれていることと推察いたします。私の経験で語りますが、20年ほど前に日本人の親しい医者にゴルフを勧めたことがあります。彼曰く「此れ程人間本来の身体の動きに反したスポーツはない。此れ程精神的に重圧をかける悪いスポーツはない。故に、私は絶対ゴルフをしない。」と言う返事でした。

私は医者に楯突くつもりはありませんが、人間の動きに反していれば、それを習熟により自分の動きとし、精神的重圧(という大袈裟なものではなくとも、時には自分の技量未熟に情けなくなり、クラブを折ってしまいたい衝動に駆られることもあり、私の友人でパットが入らずパターをその場で折ったのを見たこともあり、また、ある時所謂(にぎり)をしている仲間が、負けが分かった時、「しょうがない、命を取られる訳でもなし」という呟きを漏らしたのを聞き、何だ俺と同じことを言う奴もいる とほくそ笑んだこともあり)に潰されても、一晩寝ると翌日又ゴルフの腕が鳴る経験は私ばかりではないと思います。兎に角、ゴルフは自分とコースの闘いであるのが、余分な要素が入り、重圧の下地を自分で作っているのですから、始末に悪いスポーツであることは間違いありませんが、兎に角面白いスポーツでありますので、是非皆様をお誘いしたいと考える次第です。

さて、去る10月11日にマナードウェナンゴルフ場で、北スラウェシ州日本人会主催によるゴルフ大会が実施されました。開催に至る経緯と結果をご報告致します。

7月の或る日曜日、当ゴルフ場で三々五々集まった日本人ゴルファーがプレー終了後、日本人会副会長の川口さんから、「当ゴルフ場で韓国人とフィリピン人によるゴルフ大会が開催されました。

次ぎは日本人による大会を開催して欲しい」と言う話が、大村さんを通じて当ゴルフ場インドネシア人多数から上がっているそうです。我々日本人で日頃プレーをしているのは5～6人ですが、このゴルフ場でプレーをさせてもらっているのも、感謝を込めてこの申し入れを受けては如何でしょうか。費用もこの日本人たちで負担すれば一人当たり200万 Rp で済みます。これは日本でプレーする一回分にもなりません。賛成してくれませんか。」と言うお話が発端でした。

それから紆余曲折の結果、7名の日本人プレーヤー一人200万 Rp の拠出で発足間もない北スラウェシ州日本人会の名称でゴルフ大会が実施されました。

この大会には、北スラウェシ州日本人会名誉会長松田勲総領事からも200万 Rp の寄贈があり、これは総合優勝者に「名誉会長杯」としてトロフィーを上げることが出来ましたことを併わせご報告致します。

大会の名称に「海の日記念」と名付けましたのは、ゴルフ場競技委員長のスマンポウ氏より、9月26

日の「国際海の日」のメイン会場がマナード市となり、ハビビ大統領以下多数の大臣がマナードを訪問されたこともあり(当初の大会予定日がこの翌日27日であったこともあり)、この日を記念して大会名称にして欲しいと依頼されたことによります。

大会参加者は110名となり、閉会式にて日本人会前田会長より「今後とも地域社会の皆様と親睦を重ね、皆様と共にインドネシアの発展に努めて行き度い」との謝辞があり、盛況・成功裏に終了しましたことをご報告致しますとともに、松田総領事を始め、この大会に醸金頂きました皆様に改めて感謝申し上げます。

ご参考までに当日の予算表と成績結果表を添付致します。

皆様、ゴルフをしましょう！ ゴルフは健康に良く、逞しい精神を育んでくれます。そして何よりも沢山の友人を得ることができます。

#### WINNER DATA ENTRIES OF GOLF COMPETITION IN COMMEMORATING "TAHUN BAHARI INTERNATIONAL"

**Best Gross** : Ms. Tia Kaligis  
**Best Net Overall** : Mr. Rasono

#### **MEN**

FLIGHT A: I. Mr. Fig Acdamang  
II. Mr. Sugianto  
III. Mr. Mobby

FLIGHT B: I. Mr. Usantoro  
II. Mr. Keiichi Nishimura  
III. Mr. Anton

FLIGHT C: I. Mr. Eddy  
II. Mr. K.H. Cho  
III. Mr. Agus P.

#### **LADIES**

I. Ms. Priharyadi  
II. Ms. Robby Hasono  
III. Ms. Kadirun

Note : TOTAL PLAYERS ARE = 110 Personal

**COMMEMORATE TAHUN BAHARI INTERNASIONAL  
NORTH SULAWESI JAPAN CLUB TROPHY  
INVITATIONAL GOLF COMPETITION**

Date: 11 October 1998

*BUDGED ESTIMATE OF GOLF COMPETITION  
(RENCANA ANGGARAN PERTANDINGAN)*

1. Trophy (Piala)	
a. Best Nett Overall	
b. Best Gross Overall	
c. Best Nett Flight A 1 2 3	
d. Best Nett Ladies B 1 2 3	
e. Best Nett Flight C 1 2 3	
f. Best Nett Flight D 1 2 3	
g. Long Distance Contest (M/F) Each Rp. 100,000.	
h. Nearest Pin Contest (M/F) Each Rp. 100,000.	
i. Service for Label 14 x Rp. 5,500.	
	Rp. 3,377,000.
2. Lucky Draw (Hadiah Undian)	Rp. 2,373,000.
3. Snack (Makanan Ringan)	Rp. 500,000.
4. Lunch for 200 person (Include Caddy & Supporter) (Makan Siang) untuk 200 Orang	Rp. 1,500,000.
5. Aqua (Air Minum)	Rp. 150,000.
6. Entertainment (Music & Singer) (Acara Hiburan ~ Musik & Penyanyi)	Rp. 800,000.
7. Man on Duty (Petugas Lapangan)	Rp. 300,000.
8. Hole in One Insurance (Premi "Hole In One" ~ Rp.20,000,000 x 5%)	Rp. 1,000,000.
9. Green Fee (Biaya Perawatan Lapangan ~ 100 x Rp. 20,000)	Rp. 2,000,000.
10. Reservation Fee (Biaya Penggunaan Lapangan)	Rp. 1,000,000.
<b>Total amount</b>	<b>Rp. 13,000,000.</b>

【交通】 マナド方面からだ中央ビトゥン郡のギリアの交差点を左折し、リクパン方向に北上する。ピノカラン、ダノウドゥ、ドゥア・ソウダラを経由し、バトウ・プテイに至る。(地図参照) ドゥア・ソウダラを越えると難路になり、乗用車では無理。できれば4輪駆動車を使用したい。リクパン方面からも道はあるが、これよりもっと険しい山道である。

【装備】 傘、合羽などの雨具。懐中電灯。虫よけ薬。( Cairan Anti Nyamuk - 『AUTAN』等。スーパーで購入できる) 水。軽食。山道を歩くので運動靴を履くのが良い。マナド出発前に揃えておくこと。尚、森林地帯では携帯電話は使用不能になる。

【所要時間】 マナド〜ドゥア・ソウダラ (一般道路) 約1時間  
 ドゥア・ソウダラ〜バトウ・プテイ (険しい山道) 約1時間  
 バトウ・プテイ〜タンココの森 ) 約1時間30分  
 タルシウスの生息地域には遅くとも日没30分前までに到着していること。



◎バトウ・プテイでガイドを雇う。森の中には標識も何もないのでガイドなしでは無理。森林公園入口の管理事務所で登録し、入場料Rp. 750-を支払う。ガイドの案内で森林浴を楽しみながら森を散策し、日没前にタルシウスが生息するプリンギンの大木に到着する。

◎日没頃、タルシウスがプリンギンの木陰から餌を捜しに姿を現す。敏捷な動きでバッタなどの虫を捕らえ、ムシャムシャ食べる光景や糞尿をする光景も見ることができる。小さな身体で枝から枝へ数メートルも跳躍する。タルシウスは約30分ほど住処の周りで活動しているが、その後餌を求めて森の中へと移動する。タルシウスを見れるのは日没前後の1時間が鍵である。住処に戻ってくるのは翌朝。そして日没までプリンギンの大木の木陰で眠りにつく。タルシウスは野性の動物なので必ず見れるとは限らない。天候などによって見れない場合もある。

◎1本のプリンギンの大木に生息するタルシウスは多くて7匹。それ以上に繁殖すると別の住処を求めて移動する。

タルシウスは繊細な動物で、音と光を嫌う。

タルシウスを観察する時は、大声で話したり大きな音を出したりしないよう注意すること。

カメラのフラッシュは厳禁。

フラッシュをたかれたタルシウスは、ストレスになり、こうじて死に至る場合もある。

つがいのタルシウスが配偶者を失った場合、残ったものもまもなく死ぬという。

観光客がたくフラッシュのためにタルシウスがかつての住処を捨てて森の奥へと移動している。

森林公園入口近くには、タルシウスが住まなくなったプリンギンの大木が何本もある。

◎森林公園でのもう一つの収穫は『蛍』

(Kunang-kunang) である。

日本では見ることの難くなった蛍の大群を目にすることができる。

これは日本に分布していない属の蛍で、体長は7ミリ位。名前はムナキキキベリホタル(胸黄黄緑蛍)という。

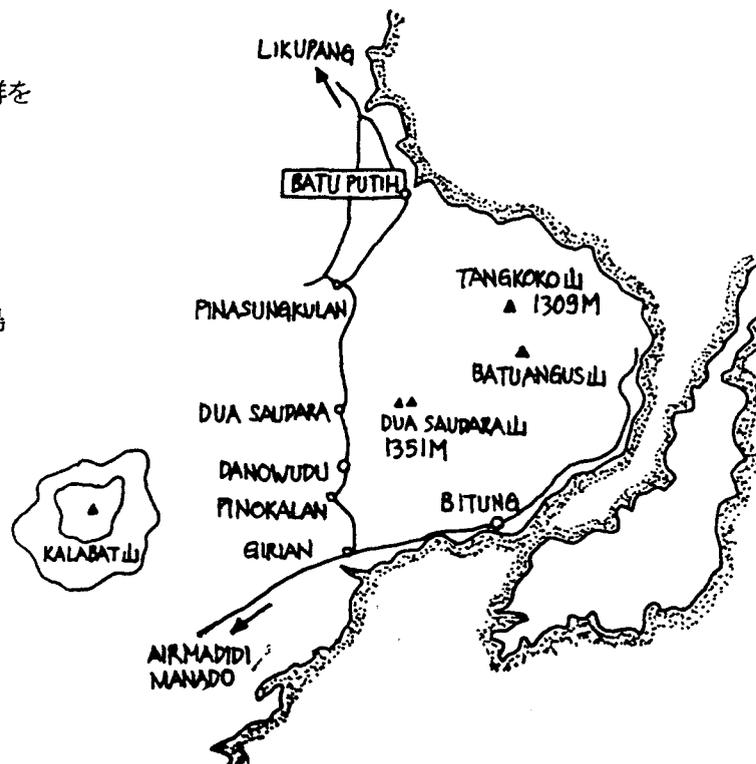
何十万匹もの蛍の発光で10mのアカシアの木がクリスマス・ツリーのように輝くことで有名な西イリアン地区のワイゲオ島とまでもいかないが、ここでも同じ様な体験をすることができる。

上を見上げるときらめく満天の星に感動するだろう。

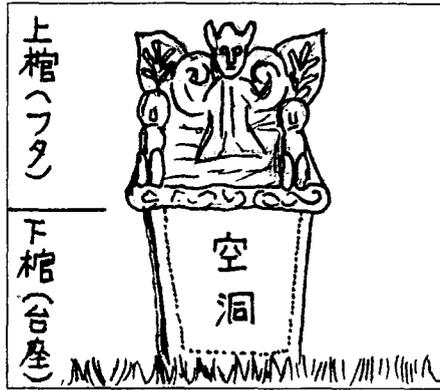
◎昼間、タンココの森を探索すると

黒猿を見ることができる。

また、海岸では海水浴も楽しめる。



## WARUGA (ワルガ)



北部ミナハサ地方の石棺。  
立方体の石をくり抜いて内部を空洞にし、遺体を収めた。遺体はしゃがむような格好で石棺に収納される。これは、ミナハサ人独特の宗教観に基づいている。つまり、『胎児は母親の子宮から座った状態で産まれて来て、座った状態にて永遠の眠りにつくことができる』というものである。ワルガの製造の始まりは不明だが、巨石時代の名残りと考えられている。19世紀初頭にミナハサ地方を襲った疫病により多数の死者が出るとワルガの生産が衰え、キリスト教の伝播により完全になくなった。

◎この遺跡公園には144個のワルガが現存しているが、遺骨や埋葬品などは全てオランダ植民地時代に取り出されており、現在石棺の中は空である。埋葬品の一部は北スラウェシ国立博物館に展示されている。いくつかのワルガは壊れており、内部の様子を観察することもできる。

◎遺跡公園の入口付近にお土産屋『SAWANGAN』がある。(青い屋根が目印)ワルガの模型やタルシウスの人形などを販売している。この店のオルチェ(Ortje)おばさんはガイドも勤め、流暢な英語で遺跡公園の説明をしてくれる。(チップ:Rp. 5,000~10,000程度)

オルチェおばさんの説明によると、

『ワルガは全て北に向けて建てられている。これはミナハサ人の祖先がモンゴリアから渡来したことに由来する。

ワルガの形は中国の寺院を模している。

104番のワルガは約五百年前の日本人のものである。着物を着た人物と太陽と竜がモチーフとなっており、裏には家紋が彫られてある。』ということである。

犬を使って狩りをする光景。母親が子供を産む姿を段階的に表したもの。紛争する2人を裁く裁判官。大きな権力を握る部族長。などワルガに彫られている種々のモチーフをオルチェおばさんは解説してくれる。



◎この遺跡公園のもう一つの見所は、樹齢百年の朽ちた『カンボジャ』の木である。妖気を漂よわせ、おどろおどろした雰囲気である。公園の周囲にある一般墓地の色あせた十字架群を背景に、幻想的な情景を醸し出している。日没後蝙蝠が徘徊しだすと、さながら怪奇映画の舞台の中にいるようである。



作家、高見順は昭和16年1月27日から5月6日までパラオ、メナド、マカッサル、スラバヤ、バリ、バタビヤの旅に出、帰国後その旅行記を『蘭印の印象』という本にした。【改造社。昭和16年9月27日発行】以下の文は2月8日のメナド寄港の項を一部抜粋したものである。

『サワンガン部落の有名な土人墓地に寄る。百四五十ほどの家の形をした墓石にはいづれも人間の彫像が飾りのやうにつけてある。そして、その彫像には、男女の生殖器がついてゐて、男の墓、女の墓と一見して分るのである。赤ん坊を生んでゐる格好のものもある。難産で死んだ女の墓であらうか。

墓石を拳で叩いてみたが、なかが空洞らしく、或は石の質にもよるのだらう、土を叩いたやうな頼りない音がした。

この墓地には、もと日本人の墓もあつたといふ。日本人の紋が刻んであつたので、それと分るのであつたが、蘭印當局がその墓を撤去してつたとの事である。

昔、ここに漂流した日本人が、鎖國のために歸れず、住みついたのであらう。土民の姓に、日本人の名から出たらしいゴンタとか、姓を受けついたらしいアンド、ゴトウ(?記憶不明)と言ふやうなのがあるといふ。

墓地の出口に太い竹のやうな、そして節の間の短い木があつた。ピンロー樹である。』

ウ ジュン・パンタンを訪れる人は、男性女性を問わず、「シリッ」について知っ

ておいて損はありません。「シリッ」をひと口で説明するのは無理ですが、われわれ日本人の「恥」に似たものと考えておいてもいいでしょう。

かつて、ある日本人大学生グループがウジュン・パンタンを訪れ、地元のマカッサル人

## 日本の「恥」と インドネシアの 「シリッ」

家庭に宿泊したことがあります。数日間の滞在  
在中、彼らは心暖まるもてなしを受けました  
もちろん、宿泊料は無料です。

さて、ウジュン・パンタンを去る日、ハサ  
ヌティン空港まで見送りに来てくれた宿泊先  
の家族に彼らは一通の封筒を渡し、飛行機が  
離陸したあとにこの封筒を開いてくれと伝え  
ました。この封筒の中味はいったい何だった



のでしょうか。

なかには数万円の現金が入っていました。  
このマカッサル人家族がきわめて不愉快な思  
いをしたことは言うまでもありません。日本  
人学生たちにしてみれば、滞在中受けた好意  
に対して、時間のないまま現金でお礼の気持  
を表したつもりだったの

ですが、受け取った側に  
してみれば、それまでの  
サービスはすべて金欲し  
さのためと思われたとい  
うことになり、彼らのプ  
ライドはひどく傷つけら  
れたわけです。

お礼の気持を現金で表  
すという方法は、よほ  
ど気心のわかり合った間  
柄である場合を除いて、  
インドネシア全国、いや

世界のどこでも細心の注意が必要なわけです  
が、ウジュン・パンタン（および南スラウェ  
シ州）では、特に注意する必要があります。  
南スラウェシ社会には、はじめに触れた「シ  
リッ」という価値観があり、彼らは「シリッ」  
なくして人間はありえないと考えます。もし

も個人または集団の「シリッ」が汚されると、  
彼または彼らは自分たちの「シリッ」を汚し  
た相手に報復し、「シリッ」をそれ以前の状態  
に回復させる義務が生じます。「シリッ」を汚  
されたまま何の抵抗もしない人間は、もはや  
人間ではなく獣にすぎないということになる  
からです。先の日本人大学生の場合、彼らはマ  
カッサル人の「シリッ」を傷つけたことにな  
り、本来ならばなんらかの報復をされても文  
句は言えないところでした。

「シリッ」が最も激しいかたちで示されるの  
は男女関係をめぐる問題です。すなわち、男  
性が女性をからかったり、悪ふざけをしたり、  
あるいは交際の男女が女性の親の知らない  
うちに深い仲となって、のちにこれが親にば  
れたとき、男性は女性の親族から報復を受け  
ることを覚悟しなければなりません。この報  
復は生やさしいものではなく、彼ら特有の短  
刀（パティック）で相手の男性を刺し、死に  
至らしめることがしばしばです。

だからといって、この地方の人びとが野蛮  
な凶暴な人間だというわけではありません。  
表面は粗野でも内面はとて優しい人たちが  
と思うのです。

（佐久間徹）

あ  
る神様の夫婦がいます。夫の神はとて  
も天真爛漫、外出好きの神様で、妻の  
女神がちよつと目を離そうものなら、すぐに  
生まれたままの姿になつて家を飛び出します。  
そして壮大なる男性のシンボルをぶるんぶ  
るんと振り回しながら、ここかしこと歩き回  
るのです。

夫のいないのに気がついた女神は、夫の立

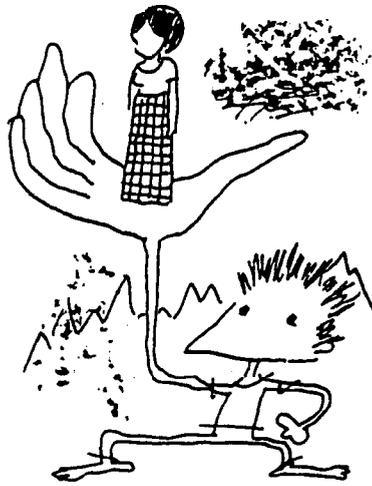
## 強き者 汝の名は つむじ風と女

派な持ち物がほかの女の目にとまる前にサロン  
をはかせようと、あわてて夫の衣類を持つて  
追いかけます。

この女神は大変な焼き餅焼きで、裸の夫が  
人間の女と隠れていそうな家は片っ端から壊  
してしまします。そこで人間は、あらぬ疑い  
をかけられて女神に家を壊されないように、  
機織り道具の棒を窓の外へ突き出しておきま

す。こうしておけば、女神は女性が使う機織  
り道具が使われていないのを見て、なかに女  
性がないのなら、夫が隠れているはずは  
ないと考え、この家を避けていくのです。  
さて、この女神はいったい何かおわかりで  
しょうか。答はつむじ風。

南スラウエシの西岸地方では、毎年乾期の  
終わりから雨期の初めという気候の不安定な



時期につむじ風が発生し、大木を根こそぎ倒  
したり、高床式民家をつぶしたりすることが  
ありますが、地元の人びとはこのつむじ風を  
女神が夫を捜し回っていると考えたのです。

神様の世界の女性はこのように大変強く荒  
つばいわけですが、この地方の女性も弱そう  
に見えて芯はなかなか強いのです。男たちに  
言わせると、女は男の手のひらの上において、

どんなに頑張ったつもりでも五本の指の先ま  
でしか進めないなどと、男の偉さを自慢しま  
す。

何やら孫悟空の話を思い出させるような話  
ですが、孫悟空が大変な力を持っているのと  
同じく、この女性の地位も男をしのぐとこ  
ろがあります。そもそもマカッサル族の王権  
の起源は天から降臨した女神にあったのです  
から、女性の社会的地位が高いのは当然です。  
この地方の社会は母系制が基本になつてい  
ますから、結婚も男の家が嫁をとるのではな  
く、婚入り婚であり、夫婦は結婚後も妻方に  
住むのが普通です。

また男が求婚して結婚が成立するまで、縁  
談を破棄する権利は女性側にあるので、男性  
の親族は女性側から出てくるさまざまな要求  
を満たすよう努力せざるを得ないのです。結  
婚までには男は大変な出費を強いられるとい  
うわけで、まさに「男はつらい」のです。

これに対して「娘三人いれば破産する」と  
いうことは、この地方ではおおよそ理解し難い  
ことであり、逆に「娘多くして蔵が建つ」と  
いう、未婚の男性にとっては悲劇的な事態に  
なるのです。ああ、弱き者、汝の名は男なり。

(佐久間徹)

飛騨アジア・アフリカ救援衣料チャリティー実行委員会が集めた義援金や救援物資の運搬とミナハサと日本の子供達の交流を目的に、1998年2月28日から4月1日まで26名の訪問団がマナドを訪れました。以下の文はその報告書から一部抜粋したものです。

紙面の関係で縮小版としました。少々読み難いかもしれませんが何とぞご了承下さい。

尚、同件に関するお問い合わせは、コーディネーターの青木氏、又は日本語教師のヨス先生まで。【編集部】

## 北セレベスと日本の子ども交流会

### 報告書

1998年

北セレベスと日本の子ども交流会実行委員

マナド教育大学日本語学科

JOS NARANDE

Japanese Teacher

0431-35225

JL.SEA LORONG TUMINTING III  
MALALAYANG I・MANADO  
TELP.(0431)821307

日本インドネシア友好交流協会

常任理事 青木次郎

事務所 〒101 東京都千代田区神田横河台2-1-19  
アルベルゴ街茶ノ水 421  
TEL・FAX 03-5281-0283

自宅 〒180 東京都武蔵野市境南町5-6-15  
TEL 0422(31)4841  
FAX 0422(33)0080

1. 北セレベスと日本の子供の交流会を企画して

コーディネーター  
青木次郎(日本インドネシア友好交流協会理事)

ミナハサ・アムランのカローラン病院の田村先生から、日本で救援衣料を集めてメナドに送っている飛騨高山A A救援衣料実行委員会というのがあって、インドネシアへの救援衣料の発送に困っているので協力してやってくれと連絡があり、委員会事務局長の水谷さんを紹介されました。この会の人は救援用の衣料を田村先生を通じて、ずっとインドネシアのアムランへ送っていたのですが、インドネシアは救援物資の郵送について特別の恩典はなく、高い税金を課せられるのです。そのためインドネシアへ行く人があるとお願ひして、人手を借りて少しづつ運びこんでいたのですが、メナドと言う所は行く人が余りありませんので、願ひする人が限られて多くの物資が運べないのです。しかもインドネシアへの持ち込み荷物は一人20kgと制限されているので、たいした物が運べません。そこで私の知り合いでメナドへ行く人があれば頼んだり、又、自分でもインドネシアへ行く度、すこしづつの救援物資を運んでいたのですが、今回のインドネシアの騒動によって、ルビアの下落、物資の高騰などにより、それだけでなくも貧しい生活をしている僻地の人達が、大変困っている事を知って、何とか大量の救援物資を送ろうではないかという事になり、水谷事務局長よりご相談があり、このたび別紙のような計画が始まったのです。

唯、今回のこれらの運動は、単にインドネシアの窮状の救援というだけのものではなく、これに参加する事によってインドネシアの事をよく知り、その中からいろいろのことを学び、日本とインドネシアの子供たちによる、よき交わりが出来てお互いが仲良くなれたらよいなあという目的もあったのです。そこでインドネシアの家庭にホームステイをして、各施設を訪れ、直接にインドネシアを肌で知ってもらうという考えを基本に計画が進められました。幸い私がインドネシアのメナドで生活をしているということで、現地での計画を引き受ける事になったのです。

そして飛騨高山を中心にして、いろいろと運動を展開しました。多くの団体へ寄付のお願ひ、各新聞社に対する協力のお願ひ、一般市民への呼び掛け、物資を運んでくれる少年ボランティア団員の募集等、頑張りました。お陰で多くの協力者を得る事が出来ましたが、唯団員の子供達を集めるのに一番困りました。何しろ、当時インドネシアの情勢はご承知の通りで、外務省の渡航危険情報を何回も取り寄せたり、メナドで私と一緒に生活をしているヨス先生にも、連日現地の様子を問い合わせたりして、安全だという結論を得ていたのですがそれでも、もし万一の事があれば取り返しの付かない事になり、大きな責任を負わなければならないし、水谷先生とも随分話し合いましたが、最終的には私達を信用してくださって24名もの団員の子供さん達が参加してくれることになったのです。特にそんな危険と言われるところへ大切なお子さんを預けて下さった親ごさん達には、唯々感謝するのみでした。最終的に、交流会メンバー、支援の内容は次の通りで計画通り実行する事が出来ました。

コーディネーター	青木	大学生	1名	
引率リーダー	水谷	専門学生	1名	
副リーダー	土屋	高校生	5名	計26名
一般参加	湯畑	中学生	6名	
"	海藤	小学生	8名	
救援物資	600kg(ダンボール箱43個)			
支援金	845,000円			

2. 主旨と日程

1998年インドネシア 北セレベスと日本の子ども交流会について  
(含むシンガポール・スタディツアー)

引率リーダー 水谷恵子(飛騨A A救援衣料実行委員会事務局)

【目的】

インドネシア・スラウェシ島の北セレベスは、長年 田村久弥医師ご夫妻がご奉仕され、心血そいで村人の健康医療生活の改善につくしてこられたところです。

1994年にご夫婦引退後、苦慮しておられるアムランの病院、ナザレ孤児院などGMIMキリスト教団の施設・ベテスタ病院などを訪問し、ボランティア作業をさせていただき、献金や支援のしるしの品を届けたいと思います。

また、メナド市では保育園建設の支援をし、メナド教育大学の日本語学科の学生の助けをお借りして、いくつかの学校の子どもたちと友好を深めあいます。また、絵画を交換しあいます。

尚、行きの中継地シンポールでは、戦争についてや、アジアの多民族国家の人々の生活の様子、インドネシアの火災による大気汚染の被害などについて学びたいと思います。共に学び、奉仕し、アジアの人々と交流を深めることを目的とします。意欲のある方々の参加を歓迎いたします。

【救援物資・献金・保育園建設支援についての呼びかけ】

救援物資について

インドネシアは救援物資が郵送できない国ですが、団員一名につき20kg持ち込むことができます。タオル、新品衣類、文房具、石鹸、医薬品、スプーン、折り畳み傘などをお寄せください。施設・学校・病院から、要請がきています。

サリオ保育園建設支援

念願の保育園建設(給工費250万円)に向けて現在整地に入っているところとなりましたが、保育園の建物内部の備品や教育設備を整えるお金が必要です。

献金について

インドネシア ルビアの暴落で高価な医薬品の購入ができなくなり、混乱のただ中にあります。以前、飛騨より寄付した車(救急車の代用)も使用に耐えなくなってきています。アムラン・カロラン病院は島の最も貧しい地域の人々の医療を支える病院ですが、病院のためにご献金ください。

この準備を進める中で、田村久弥先生が健康を取り戻され、アムラン病院への復帰を考えられるようになりました。特にアムラン病院では胎児の心音を診察するためのドブラー装置が必要とされており、今回の募金の中から中古で20万円弱のものを購入でき、お届けできるようになりました。本当に感謝いたしております。

【資料】 GMIMキリスト教団の社会奉仕活動分野

A 施設と現在の在席数

1. トモホン	ナザレ孤児院	5才以上の子ども	91人
2. トモホン	ベテスタ孤児院	5才以下の子ども	42人
3. トンダノ	ドルカス孤児院	5才以上の子ども	105人
4. トモホン	身体障害者援護施設	年少~学齢期の子ども	31人
5. マナド	生活保護・母子家庭施設	208人の子ども	

B 貧困家庭の子どもへの奨学資金支給

C 被災者、貧窮者への生活支援

【計画委員】 コーディネーター 青木次郎(日本インドネシア友好交流協会常任理事) マナド在住  
引率リーダー 水谷恵子(飛騨A A救援衣料実行委員会事務局)

【後援】 日本インドネシア友好交流協会、飛騨A A救援衣料実行委員会

【協力】 インドネシア GMIMキリスト教団、トモホン・ベテスタ病院、アムラン・カロラン病院、マナド・サリオ教会、ビートン・教団ビートン病院  
シンガポール NAW (Network of Asian Women)

## 旅行日程及び概要報告

1998年3月25日(水)～4月2日(木)

3/25(水) 高山出発グループ朝3時45分新宮町事務局にて救援物資積み込み

4:00 出発(久々野駅にて土屋親子乗車)

8:00 名古屋空港着

独立学園からの三人(藤本・榎本・古畑)、岐阜県内からの二人(西尾・市川)と合流。  
出国手続き・48箱の救援物資と共に。

10:35 S Q 981便 名古屋空港発(約6時間半の飛行)

16:30 シンガポール チャンギ空港着

換金したり、軽食をとったりして東京の4名を待ち、チャーター・バスへ救援物資を積み込んでオックスフォード・ホテルへ。(東京からの4名) S Q 977便 18:20着

3/26(木) 7:30 起床・朝食

『多民族国家シンガポールを身近に感じるツアー』

モスクや中国寺を訪れ、異なった民族がお互いに認め合い、尊重し合って暮らしている様子をみました。市場の様子も、めずらしかったです。高層アパートにお住みの一般家庭を訪問させていただき、シンガポールの年配のご夫婦と親しく話し、質問したり、お茶をいただいたりしました。

午後はホテルの近くを、自由に散策し、一般の人々の食堂で、食事したりして、街の様子を十分に楽しみました。

夜 青木さんのお話を中心に、戦争について考える会を持ちました。青木さんの小冊子『追憶』にそったお話や、戦争を体験されている湯畑さんからもお話を伺え、たいへん考えさせられました。

3/27(金) 9:00～13:00

『「戦争の歴史」「シンポールの歴史」をともに学ぶツアー』

美しいセントーサ島に渡り、シロツギや戦争博物館をみました。

日本人が、戦争中にシンガポールに対してした行為を知ることは、つらいことでしたが、「正直にいて、たいへんショックを受けた。だが、このショックを受けて、今からどうしたらいいのかを考えるのが、ぼくたちの使命だ。」というメンバーの発言に一同深く共鳴しました。また、コースに入っていなかった水族館も楽しめて良かったです。

時間も下がったので昼食はオックスフォード・ホテルへ戻って全員でおいしくいただきました。このオックスフォード・ホテルはエリザベスさんの勧めで予約しましたが、こじんまりと気楽で、たくさんの救援の箱も無料で預かってくださり、レストランのクックさんは、忙しくて、子どもたちの水筒に快く水を入れてくださったり、部屋を通常料金より安く提供してくださったりしました。

この日、昼食を食べに戻ったことを、とても喜んでくださいました。

ガイドのエリザベスさんは現地のNAWのご紹介でしたが、この旅の主旨をよく理解して協力してくださりました。時間が伸びることも、また、チャンギ・チャペルへ寄ることについて、バス会社とよく交渉していただき、便宜をはかってくださいました。

・夜、20名はナイト・サファリへ(19:00～22:00)

・水谷・清水・志保は現地NAWのバングラディッシュの方と打ち合わせをし、リトル・インディアへ。

・古畑・藤本・榎本もリトル・インディアへ。

3/28(土) 朝9:00 ホテルを出発

チャンギ・チャペルを訪問し、戦争の犠牲者について静かに考える時が持てました。

13:05 M I 276便 シンガポール チャンギ空港発

16:55 マナド着

サリオ教会の皆様と6台の白バイを先頭に、何台もの車のパレードでのお迎えをうけました。

18:00 サリオ教会で夕食 婦人会・青年会と歓迎交流会

20:00 ホーム・ステイ分宿へ

3/29(日)

7:00 起床・マンディ・朝食

9:00 サリオ教会にて聖日礼拝(賛美歌を披露しました)、交流談話会

12:00 昼食

13:00 アイルマディディの洞窟・サワンガンのワルガ見学・ケマビーチ～ビートン病院見学

16:00 ビートン港・レンベ島・海岸の記念碑

17:00 マラヤンに到着

18:00 夕食交流会(青木宅)、礼拝～ホーム・ステイ分宿

3/30(月)

7:00 起床・マンディ・朝食・集合・出発、一部のメンバーで貧しいお宅を訪問、オレオレ(おみやげ)を手渡しました。

10:00 マナド港を二艘の快速船で出港。一時間でブナケン島へ、ガラス・ボートでサンゴ礁見学、海水浴など

12:00 ビーチでサリオ教会の方々で作ってくださった昼食を食べ、満ち潮を待って、のんびりと過ごしました。

18:00 トモホン市 ナザレ孤児院・乳児院慰問

19:00 看護学校学生と交流

ベテスダ病院研修施設にて宿泊(全員同所)

3/31(火)

7:00 起床・マンディ・朝食

9:00 ベテスダ病院見学、トンダノへ出発、トモホン小学校訪問・グミン教団ろう学校訪問

11:00 トンダノ湖…日本海軍の落下傘降下地

マナド教育大学日本語学科訪問(ちょうど卒業式でした)

12:00 パソ温泉(入浴・昼食)

13:00 出発～ラングワン飛行場跡見学(元日本軍基地)

カワンコワン、ソンドルなど戦場跡を訪ねる、陶芸の村見学

19:00 アムラン・カロオラン病院訪問、交流パーティー。ゲスト・ハウスに宿泊(全員同所)

4/1(水)

10:00 出発

11:00 タテリ椰子林の中でお別れ野外パーティー(サリオ教会青年会・日本語学科学生などと)

13:00 出発～マナド市内見学、スラム街を通りぬけました。

ミナハサ州牧師全体会議表敬訪問

16:00 空港到着

16:30 ゲイト入場(Mr.青木はマナドにお残りになりました)

17:30 M I 277便 マナド発

21:05 シンガポール チャンギ空港着

東京への三人は、S Q 998便 23:15 → 06:35

4/2(木)

01:35 S Q 982便 シンガポール チャンギ空港発

08:55 名古屋空港着 マイクロ・バスで高山へ

### 3. 救援物資・募金・交流活動報告

#### 北セレベスと日本の子ども交流会 救援報告

引率リーダー 水谷 恵子

3月25日から4月2日までの交流会に際し、たくさんの救援物資、募金をお寄せいただき、本当にありがとうございました。10才から79才までの交流メンバー26人が、全員無事に役割を果たし、大きな学びを胸に帰国できました。心からの感謝をもって報告させていただきます。

お寄せいただいた募金・救援物資 (98/4/8現在)	
募 金	86万4千円
救 援 物 資	770kg

#### 【募金・救援物資の届け先】

##### 救援物資について

たくさんの皆様のご協力のお陰で医療機器、医薬品、タオル、新品衣類、文房具、石鹸、スプーン、折り畳み傘など、43箱（600kg）を運ぶことができました。つぎの各所でたいへん喜ばれました。本当にありがとうございました。飛行機の重量を越えた分や、関税免除などの点で、シンガポール・インドネシア両政府、航空会社などのご協力が得られたこともあわせて報告させていただきます。

（また、たくさんお寄せいただいたお陰様で170kgを次のようにさせていただきました。

- ・高山市内老人福祉施設へ白タオル4箱
- ・アジア学院新入生のためにタオル・石鹸など5箱
- ・後日インドネシア持ち込み分として3箱
- ・フィリピン・ストリートチルドレンへ1箱郵送)

#### 1. サリオ保育園へ支援金10万円・物資6箱

念願の保育園建設（総工費250万円）に向けて現在建設に入っているところでした。設備費は総額20万円とのことですが、その半額をお渡しできました。

岐阜県内のみなさまよりのピアノ40台と、岐阜市のリズム楽器（越川嗣郎氏）より指導者用に高価なアコーディオンの寄贈をいただき、保育園の教育備品として寄贈することがかかないました。アコーディオンを見るのが初めての子どもたちが、好奇心をおさえられなくて、おそろおそろ触りに集まったのがたいへん印象的でした。

#### 2. サリオ教会へ、マナド・スラムへ配布用に物資5箱

一部を子どもたちが配って回りました。吹けば飛ぶようなあばら小屋に、泥をかためた床で、湿っぽい臭いがたちこめていました。電気・水道はもちろんのこと家財道具らしきものも一切ありませんでした。

#### 3. マナド母子寮へ5千円と物資5箱

「母子寮」と呼べる建物は全くなく、各所で漁業・農耕・畜産・教育という小さな群れを形成して208人の母子が暮らしています。一家族一ヶ月約500円の補助です。畜産部では一頭の豚を貸与され、それを一家で養い、増やして生計をたてていくのだそうです。

#### 4. ナザレ孤児院・ベテスタ孤児院へ1万円と物資6箱

133人の子どもに対して、棚に片付けられている衣服の枚数が全く少ないのに驚きました。ちょうど雨の日で、職員の先生方は部屋の隅におかれた石油ストーブで洗濯物を乾かすのに四苦八苦しておられました。

こちらとは1986年からの付き合いです。毎年、一人の子どもに対してタオル一本がクリスマスの時にだけ配られます。

#### 5. トモホンろう学校へ5千円

6才から22才の方が言葉の治療をうけておられました。日本のように早期発見・治療がゆきわたるようになれば良いのと感じました。

#### 6. アムラン小学校へ学費に不足している子どもの奨学金として5千円

6年生25人がたいへん良くそらった歌声とミナハサ族伝統の踊りで歓迎してくださいました。一同深く感激いたしました。

#### 7. トンダノ・ドルカス孤児院へ3万円と物資4箱

105人の子どもたちが、暗い部屋の二段ベッドで生活しています。私たちが訪問する少し前に、台所がぼやで焼けたことを知り、同行メンバー全員からその場で新たな募金の申し出があり、全部で3万円をお渡ししてきました。一般の家が20万円で建つ所ですから、「これで台所を建て直せる」と院長さまは声もでない程、喜んで受け取ってくださいました。

#### 8. ベテスタ病院へ3万円と物資5箱・機器部品（9,765円相当）

今回の支援のしるしも、ソーシャルワーカーのヘニンさんが最も有効に用いて下さいます。私たちがからの救援バザーを開いて身寄りのない病気のお年寄りの治療費や老人福祉施設の入所費用にあてるなど、たいへんきちんと取り扱って下さいます。こちらの看護学生とにぎやかな交流会がもて、とても有意義でした。

#### 9. アムラン カロオラン病院へ6万円と物資8箱、及びドブラー医療機器（胎児心音聴診器）

一台と一年分のドブラー使用医薬品（19万2,150円相当）インドネシアルビアの暴落で高価な医薬品の購入ができなくなり、特に病院は混乱のただ中にあります。以前、飛驒より寄付した救急車の代用のための車も使用に耐えなくなっていました。アムラン・カロオラン病院は島の最も貧しい地域の人々の医療を支えるために、田村久弥医師ご夫妻が長年奉仕された病院ですが、94年に田村医師ご引退以来、経営が困難な状態にあるのが今回の訪問でもよくわかりました。有能な医師の不足・村人の貧困で患者も職員も大きく減っていました。バレンデン院長も苦境を語っておられました。

#### 10. アムラン カロオラン病院のために田村久弥医師の管理のもとで使用されるための支援金として40万円

この交流会の準備を進める中で、田村久弥先生が健康を取り戻され、アムラン病院への復帰を考えられるようになりました。諸条件が整い次第、出発のご予定です。ご高齢の先生は以前のような数多い手術の業務はたいへんですが、若手医師の指導などに当たられます。奥様が亡くなられたため、お一人ではなにかとご不自由ではと心配です。

どうか、先生ご自身のご健康とお働きのために今後とも折り、支えて下さいますよう、よろしく願いいたします。

なお、以上の所との交流を支えてくださったマナド教育大学日本語学科へは、萩原町の長尾雅也先生の飛驒の四季組版画と大進社様のご好意で御嶽の絵葉書を記念としてお届けできたことを感謝とともにご報告させていただきます。ありがとうございました。

交流会メンバーは、戦争のこと、アジアの暮らしや課題のことなど、多くのことを学びました。各地での身にあまる歓迎に感激いたしました。

「正直に言って、たいへんショックを受けた。だが、このショックを受けて、今からどうしたらいいかを考えるのがはくたちの使命だ」

メンバーの高校生の言葉です。すべての苦勞がむくわれる思いです。現地の子どもたち・学生を日本へ招こうという話を持ち上がっております。ご協力いただける方はぜひ、ご連絡ください。

皆様！ 本当に感謝いたしております。たいへんありがとうございました。

## 6. 交流は続く

### 心優しい人達の住む島 北スラウェシ

青木次郎

皆さん本当にご苦労さまでした。有難うございました。

水谷先生始め皆さんが力を合わせて、北セレベスと日本の子ども交流会の全てが無事に終了出来た事を感謝しております。今回は大変ハードなスケジュールだったので皆さんが疲れたのではないかと心配しております。今回の私たちのインドネシア訪問によって、メナドの人々の間には日本チームが沸き上がっています。皆さんが帰ってからホームステイを受け入れてくれた家の人達や、青年会の人達の間で次回のホームステイの準備の為と言って、ヨス先生に頼んで日本語の勉強会が始まりました。現在参加者は20名ほどで2つのグループに分かれて、各々週2回、1回1時間くらいの授業を行っています。又、他にこれから2年間くらい掛けて日本へ行く為の貯金を始めた人が何人かいるとのことです。是非最後まで続けて日本へ来る事が出来たら素晴らしいと思っています。その時には皆で大歓迎をしたいですね。

今回の訪問交流会でお世話になったインドネシアの人達は、メンバーの子供たちの名前をすっかり覚えていて、誰はどうだったとか、彼はあだったとか色々話をしてくれます。中には姉妹になってほしいとか、長く家にいてほしいとか、大変です。いずれにしても、何とか早く日本語を覚えて次の時には日本語で色々とお話したいと言っています。

今回のインドネシア訪問の旅の中で、インドネシアの人達、また日本の子供たち、途中お世話になった人々との交流の中から色々感動し、学び、教えられる事がたくさんありました。特に子供たちの国境を越えた触れ合いの中に、大人にはない素晴らしいものを感じました。私は良く帰りのない交流という事を言っているのですが、今回一緒に行った子供達の何の抵抗もなく、兄弟姉妹か古い友達のように解け合っている姿に、何の嬉しみもない真の交流のあることを教えられたような気がしています。

また、今回の交流に参加した子供達の感想文の中に、「ショックを受けた、これからこれらの経験をどの様に生かして行くか考える」という高校生の言葉、「インドネシアの人達の優しさ、お兄さん、お姉さんのようにしてもらったことが忘れられない」と言っている子供達。また、一般参加として同行して下さった斎藤さんは「来るまでは皆からインドネシアについて色々事を言われ、心配していたが、こんな素晴らしい人達がいるところならば、今度は子供や孫を連れてもう一度来たい」との話。飛騨の山の中の小さな小学校の土屋先生は「山の学校の子供達全員を連れて来たい」と、夫々がインドネシアについての感想を語ってくれたことが、コーディネーターとしてお世話した私にとってとても嬉しい事でした。

リーダーの水谷先生はこれらのことについて、「これからお互いが手をつなぎ助け合って行きたい、そのためにはメナドの子供達、学生達を日本へ招きたい。そのための運動を始めた」と言っていました。その時には、皆さんも是非応援をして下さいますようお願い致します。

皆さんが帰られると行き違いにインドネシアに来られた田村先生は、カローラン病院で頑張って医療活動をなされておりましたが、3か月のビサが切れて帰国されました。アムランの病院や、町の人たちは田村先生の来られたことで安心して生活が出来るといって喜んでおりましたが、先生もご高齢で少し余り無理も出来ませんので残念ですが、もしお元気であれば再度のご来訪を町の人々と共に願ってやみません。

その他、サリオの幼稚園は殆ど出来上がっているのですが、中の設備の所で、まだ何箇所か出ていないとのことですが、10月に青木が行ったとき全部を完成出来る様にしたいと思っています。他に、子供達の図画の交換展覧会は5月にメナド市内の学校で第1回を開催、6月にトモホン小学校で第2回、7月にレイレム小学校で第3回と夫々開催しました。そして、あちらの学校からの図画も預かってきていますので、日本の学校での展覧会の開催を準備しています。また、子供達の手紙の交換も夫々の言葉に直して渡してありますので、今度10月に行く時には夫々の返事を届ける事になっています。

まだまだ、これからも北スラウェシとの交流を続けて行けたら良いと思っています。「第2回北セレベスと日本の子ども交流会」、そして第3回と出来れば何時までも続けて欲しいです。そして次には水谷先生も望んでおられる、インドネシアの子供達の日本訪問も実現出来たらよいと願っています。

## 5. 支援は続く

### 現地からの田村久弥医師の手紙

子供交流会のみんなが帰国したあとで、入れ違いのように田村先生がメイドに来られました。

空港には、私とヨス先生が出迎えに行きましたが、アムランのカローラン病院からは院長先生とご主人の牧師先生が来て居られ、一緒に空港から、メナドのマラヤンの家に立ち寄り一休みしてから、カローラン病院の方へ向われましたが、とてもお元気で安心致しました。病院の宿舎は他の先生が現在住んでいて、田村先生は、この前交流会の皆さんが宿ったゲストハウスにお一人で住まれておりましたが、10日ほど過ぎた日にお伺いしました所、毎晩蚊に悩まされておられたようでした。

丁度その頃、高山の水谷先生に宛てて、アムランの様子を知らせて来られたら幸いです。

まだまだ、アムランのカローラン病院に対して情熱をもって居られ、一生懸命になさっていることがわかるような気が致しました。

田村久弥

私がここへ来てから丁度、1ヶ月経ちましたが、未だ山が動いたような気配はありませんが、少しづつ動いているのでしょうか。私が前に住んでいた家には、他の医師家族が入っているのですが、私はゲストハウスの一室に入っています。ここに蚊が入らぬように金網を張ってくれたのですが、先日よく見ると、ガラス窓の上が1cm空いていました。ここから毎晩蚊が入って来て悩まされてきました。おおよそ1ヶ月も知らないで過ごしていました。のんきな話です。さて、5月9日は、ここから車で1時間のトンパソ・バルーのGMIMの助産所へ産婦人科の外来診療に行きました。ここは私が前にいたときに、日本の外務省が小口援助の500万円をくれて、立派な助産所が出来ました。日本では坪50万という、たった10坪しか建ちませんが、ここは建築費が安く、80坪くらいのものが建っています。1ヶ月に1回、産婦人科の診療に行っていましたが、今回、これを復活させました。11時に着いて、すぐに始め、55人の患者を1時半までに終えて、食事をして、アムランに4時に帰って来ました。すると、急患が入院しているので診ると、子宮外妊娠でした。ひどく痛がっている直ぐに手術せねばなりません。準備をして、7時から開けてみると、左の卵管が破れて、出血していました。手術は無事に終わりましたが、この手術で、縫合糸（絹糸又はナイロン糸）が全くなれということになりました。又縫合針もろくなものがない、とにかくないはずして手術を終わりました。そこで横須賀の古谷（ふるたに）先生に手紙を書いて、手術器械の不足のものを航空便で送って下さるようになりました。そのうちに請求書が行くと思いますが、お払い下さるようお願い致します。総額で10万円にならないかと思いますが、ドブラー診器は新しいので、とても助かっています。どうしてこの様に手術器械、器具が不足するかと言うと、手術場や産婦人科外来、分娩室などに出入りする看護婦（夫）看護助手・助産婦などが、自宅で開業（？）するときどうしても欲しいので黙って持って帰ってしまうのです。現場を押さええないかぎり、お前が盗らうとは言えないので、一方的にむこうのなすがままです。前にここについて、いまアムランの町で開業している助産婦のところへ行けば、さぞ立派な器械がそろっていることと思います。これを取られたら困るな、と思うものがいつの間にか消えているのです。開発途上国援助というものは忍耐と根気の要るものです。産婦人科の外来と分娩室にはそれぞれ電気スタンドがあるのですが、この電球をつける誰か入って来て、すぐなくなるので、いまは着けられないままになっています。分娩室のはごていねいに差込み用のプラグまでなくなっています。いたちここで諦めています。注射器、注射針などは格向のターゲットです。

これは誰が悪いのでもない、この国の貧困のせいなのです。この手術をした患者はアムランの人で、この噂はバット町中に拡がり、よい宣伝になりました。患者を病院に見舞ったとき、付き添いの旦那の着ていたシャツは垢だらけで、カギザキの破れたのを着ていました。こんなものしか着るものがない一般庶民の貧しさを思いました。



## 9. メナド教育大学の日本語学科の学生からのたより (全部日本語で書いてくれました)

### 皆さんの北スラウェシ訪問の印象

メナド教育大学日本語の学生一同を代表して  
ジュニー・チャンプ

最近、世界のさまざまな国の学生が日本語を勉強しています。その中のひとつに、インドネシアのマナド教育大学があります。ここでは毎年日本語を勉強する学生の数がふえています。

3月の末、マナドに日本人のみなさんが26人いらっしゃいましたね。最初にサリオの教会に全員が集まって、とてもにぎやかになりました。そこには何人かの日本語の学生もいて、おたがいに紹介し合ったり、おどったりしました。私たちはとても楽しかったです。

みなさんはインドネシアの子供たちと、とてもしたしく交際して下さいました。しかし、あまり話をするにはできませんでした。インドネシアの子供たちは日本語ができないからです。

このような時は、おたがいにほほえみ合ったり、ボディランゲージを使ったりするだけでした。

みなさんがいらしゃったので私たちは日本語の会話の練習ができました。私の会話はまだまだへたなので、もっと練習しなければならないと思います。

他に、いろいろとおもしろい経験もしました。たとえば「ナシ」と言う言葉の意味をまちがえてしまったりしたことです。ホームステイで朝食を食べている時、かいとさんと日本人の学生とエファさんと私とでインドネシア語では「ナシ」はごはんのことだけど、日本語ではくだもの名前だと言う話をしました。発音は同じでも意味はちがいます。

他にも、日本語の言葉ににているインドネシア語の言葉がたくさんあるようです。

日曜日のサリオ教会での交流はすばらしかったですね。私も見せていただきました。日本人の中にはこうきしんの強い人が多いようですね。アインシュタインは言っています。

「私は天才ではない、こうきしんがおうせいなだけだ。」と。

日本人はまた、どくどくの文化を持っています。たとえば、人と会った時、インドネシア人は必ず握手して、だき合いますが日本人は頭を下げておじぎをして挨拶します。

みなさんは教会、病院、学校、こじ院にたくさんのお援助をしてくれました。

本当にかんしゃしております。みなさんは本当にかんだいで親切でかしこい方たちだと思います。

私、そして日本語の学生会員より、みなさんが神にまもられますようお祈りしております。

もしも、みなさんのご訪問中に何か失礼がありましたら、お許しください。

いろいろとご親切にいただきまして、本当にありがとうございました。これは私たちの心からの気持ちです。

もしもお時間がありませんでしたら、またいつか、どうぞこちらにいらしゃってくださいね。

ではまた…お元気で。

### おたより

Dreisye

皆様お元気ですか。マナドへは来てくれてどうもありがとうございました。一週間くらい、マナドにいっしょに住んでいて、本当に楽しかったです。

マナドへ来た日本人は少ないです。しかし、私のためにあなたたちの訪問してくれた事はとても役に立ちました。あなたたちと仲よくできて、私の日本語は少しずつ話せるようになりました。それに、つちや先生から、教えてもらった漢字はどうもありがとうございました。日本語は難しくても面白いと思います。

皆さん あなたたちは、とても大切な人です。

では、時間のひまがあったら、マナドへまた来てください。

それでは、まちがえたことがあったらすみませんね。体に気をつけて下さい。 よろしく。

### 日本の子供を迎えての印象

メイディ

みなさんは Manado の町にたずねてきました。

その時は、私のところが楽しかったです。

私はみなさんのほうもんをととてもよろこんでいました。

みなさんが Manado をほうもんした時には、わたしたちはじょうたいがいっそう楽しくにぎやかになりました。

その時はいっしょに晩ごはんを食べました。日本語で話をしました。

そしていろいろなことをしました。そのことぜんぶがたいへんいんしょうにのこりました。

Pesan

いつ また Manado に来ますか

みなさん…ひまがあったら

また Manado に来てくださいね…

### さよなら

アネタ

空港へ迎えに行った時に初めて私は日本の子供と会いました。子供たちは自分で荷物を持って空港から出て来ました。初めて見た時の印象は子供だけで両親もいないのに自分で外国へ旅行したことができて、それはすごいです。

じこしょうかいした時、恥ずかしそうにしていたがあたりまえと思います。

途中に受け入れた家庭へ行った時、恥ずかしくないで話が始めました。

いろいろなことを知りたいので質問しました。その話から色々の経験をさせてくれました。

話すだけでも子供がどう生活するか、たとえばどういう考えか、どう話すか、すこしわかりました。私にとってインドネシアの子供と比べたら日本の子供は自分と早く仲良くなれました。話をしていた時々勉強することがありました。友達が「小さい」と言っても日本の子供はなかなかかわらなかつた。「ちっちゃい」と言ったらすぐわかった。それはめずらしいと思いました。私たちの勉強している日本語は子供の使う日本語と違いますから困りました。でも、そう言うなから私に日本語を勉強させてくれました。

受け入れた家庭に到着したら、たくさんの人々が待っていました。インドネシアの子供は外国人と会うことは、たまのことだからどこにでも日本の子供がいたら集まりました。そんなことするとおじゃまになりそうですけれども日本の子供は親切に友達になろうとしました。

私が思ったことでいちばん困ったことは言語だけでした。食べ物ほとんどだいいょうぶでした。そのほかいろいろ困ったことがありました。インドネシアの子の外国語はまだ毎日小学校か、家庭で使う少しの英語しかできません。それから初めて受け入れた家庭に入った時蚊取線香がなければなりません。でも自分でしようとしてしました。

私のいちばんいい印象は日本の子供はきびしいことでした。それは子供と受け入れた家庭に荷物を持って行ってから7時までに集まらなければなりません。私はあと15分で7時になると子供を中心に車で散歩しようとききました。

もう7時になったがまだもどれませんでした。子供は心配して「はやくもどってください。」と言いました。私は「ここは日本じゃないから少ししまにあわないでもだいじょうぶ。」と言いました。日本人はまだ、子供でもきびしくしてすごいいいと思いました。

4日かんに1日だけ子供といっしょですがとても楽しい日でした。そんな経験をしたことができてうれしかったです。子供は親切で上手に自分と交流できたからです。

では、みなさんによろしく。

## 会員の脱入会報告

脱会 (1)森井まち子 9月末 日本帰国

(2)中戸直司 10月末 日本帰国

入会 (1)喜多 和(まどか) 留学生  
(本文参照)

クロスワード・パズル 前月号の回答

D	I	P	O	N	E	G	O	R	O	
A		R			M		L		B	
E	K	O	R		P	U	A	S	A	
R		P			A		H		T	
A		I		A	T	U	R			
H	A	N	T	U			A		I	
		S		D	E	N	G	A	N	
		P	I	P	I		A	A	G	
		A			T	E	S		A	
A	S	U	H				I	K	A	T

### — 編集後記 —

新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。

会報第3号をお届け致します。

予定を早めて年内に発行することになりあわただしくなりましたが、何とか間に合いほっとしました。

今回は会員の皆様から力作熱作が多数寄せられ、読みごたえのある内容となったことと思います。

何度も繰り返すようですが、会員全員の原稿を掲載することを目標としておりますので、皆様の寄稿をお待ちしております。

事業説明、体験談、失敗談、エッセイ、各種情報など。枚数、内容、ジャンルは問いません。原則としてA4版。(内容によりA3版も可)左側に約2センチの余白をご考慮下さい。

第4号は1999年3月頃発行を計画しています。

昨年は中止となったブナケン島/ナイン島ツアーや釣り大会、カレー・パーティーなどの楽しい催し物の計画が会員の皆様の間からいくつも上がっています。会員相互の親睦をより深められますよう、また現地生活がより豊かになりますよう期待しています。

安全対策連絡協議会の辻田会長には日頃の連絡や緊急連絡網の作成などでいつもお世話になっています。改めて感謝の意を表します。

1999年1月1日 日本人会会報編集部 編集部長：川口博康  
編集部員：川井雄二

北スラウェシ州在留邦人各位殿

安全対策連絡協議会

ウジュンバンダン総領事館からのお知らせです。

12月8日付のシンガポール発行 The Straits Times 紙は、「狂信主義者がスラウェシへ向かっている」と題して、当国内有カイスラム団体、ナフダトゥル・ウラマの総裁、アブドゥル・ラフマン師のインタビュー記事を概要以下の通り掲載しています。

「自分(同総裁)は先週末教会関係者から、多数の過激なイスラム教徒と一部の国軍分子が、人口の7割をキリスト教徒が占める北スラウェシ州のメナドへ向かっているという情報を入手した。右分子の多くは地方語を喋らず外見も明らかに地元の間人とは異なるので、明らかに外部の分子である。右分子が暴動を組織するには1～2週間かかるので、この1～2週間の間にメナドで暴動が発生するか否かが分かるだろう。」

また、同じく8日付のメナド・ポスト紙は、「種族、宗教、人種、社会集団軋轢のダイナマイトがいずれメナドで爆発する」とのショッキングな見出しで、上記アブドゥル・ラフマン師との独占インタビュー記事を掲載しており、その中で同師は、既にしばしば行われてきたイスラム教徒を分裂させる策謀に続いて、カトリック教徒を分裂させる策謀も既に行われた。次の標的はプロテスタントであり、プロテスタントの優勢なメナドでいずれ騒乱が発生するであろうと語っています。

上記の報道を踏まえて、当館が現下のスラウェシ島内の治安情勢について治安当局、報道機関などの関係筋に打診したところ、一部でそのような噂が流れてはいるものの、現在まで冒頭の記事を裏付けるような動きは発生していないとのことです。しかしながら、余所者の犯罪者グループが北スラウェシ州内で活動をもくろんでいるとの情報があるほか、ポラアン・モンゴンドウ県内のバリ人移民集落襲撃事件、トモホン中心街での青少年集団間の喧嘩など、騒擾へ発展する危険性を秘めた事件が発生し始めているのも事実であり、クリスマス、イスラム教徒の断食月、旧正月などの宗教行事が控えていることを考え併せますと、これまで平穏と言われている北スラウェシ州の治安情勢が今後悪化する可能性も否定できません。

当館としても関係治安当局と定期的に連絡をとって情報収集に努めるとともに、その都度在留邦人の保護方を依頼しておりますが、北スラウェシ州内邦人の皆様におかれましても、日頃から周囲の情報収集に努め、油断しないで行動するようにして下さい。また、不審な動きや情報を入手された際には至急当館まで御連絡下さるようお願い致します。

以上

## 北スラウェシ州在留邦人緊急連絡網

1998年3月6日作成  
1998年12月1日改正 第2版

在ウジュンバンダン日本国総領事館			
Jl. Jend. Sudirman No. 31			
TEL 0411-871030 / 851882 / 872323			
FAX 0411-853946			
松田総領事	公邸	0411-322460	
佐藤領事	自宅	0411-871053	携帯 082-4110885
高塚領事	自宅	0411-871557	携帯 082-4110315
金子副領事	自宅	0411-873578	携帯 0811-440672
佐久間領事補佐	自宅	0411-321666	

北スラウェシ州安全対策連絡協議会本部 (辻田)			
PT. HORTIGUCHI SINAR INSANI			
TEL 0431-853733 / 852697	-タリセ工場	082-4311698	
FAX 0431-865279	坂本・関崎・辻村・斉藤		
携帯 0811-433308	-パンカ工場	082-4311683	
辻田・大村	自宅	0431-858559	門・宮本・鈴木

ビトゥン支部 (押川)			
PT. PRIMA KASHINDO			
TEL 0438-30020			
FAX 0438-30016			
押川	自宅	0438-30439	
	携帯	082-4310487	
落合・内田 (忠)			

マナド支部 (八巻)			
BLUE BANDER DIVE CENTER			
TEL 0431-851126 / 851174			
FAX 0431-862135 / 841190			
八巻	NOVOTEL	0431-855555	
	FAX	0431-868888	

APPJI	
TEL	0431-821307
青木	

PT. SUNUDRINDAH PARADISE SULUT	
TEL	0811-431628
谷口	

PT. KASUARI SANKO TUNA PERSADA			
TEL 0438-21411			
FAX 0438-21606			
前田	自宅	0438-30207	
	携帯	0811-430603	
井上	自宅	0438-31640	
	携帯	0811-430641	
松下	自宅	0438-31806	
大城・築島			

PT. SARUNTA WAYA AMURANG			
TEL 0430-21596			
FAX 0430-21596			
大茂			

KAJIMA-TEGUH JOINT OPERATION			
TEL 0431-811101			
FAX 0431-811103			
川井・西村	宿舍	0431-854988	
西村	携帯	082-4311776	

TOBISHIMA Corporation			
TEL 0431-821318			
FAX 0431-821318			
辻広・大野	宿舍	0431-861957	
佐藤・金谷	宿舍FAX	0431-865470	
辻広	携帯	0811-433272	
大野	携帯	0811-433273	

PT. TERUNA CONTINENTAL			
TEL 0438-21590			
FAX 0438-34363			
平野	自宅	0438-21476	
	携帯	082-4311930	
長崎	自宅	0438-21212	

PT. KURENAI JAYA			
TEL 0435-22964			
FAX 0435-22964			
内田 (格)	自宅	0435-22072	
小澤	自宅	0435-22968	

JAPAN FOUNDATION			
村上	自宅F兼	0431-352963	
	携帯	0811-433023	
家田	自宅F兼	0431-866532	
	携帯	0811-986293	

PACIFIC CONSULTANTS INTERNATIONAL			
TEL 0431-821319			
FAX 0431-821319			
牛崎	自宅	0431-857491	
	携帯	0811-433273	

CELEBES JAPAN FOODS CORP.			
TEL 0438-30920			
FAX 0438-30831			
鈴木			

PT. MARIA SOUTHSEA PEARL			
TEL 0435-23871			
FAX 0435-829334			
山下			

JICA			
高澤	勤務先	0431-869656	
	FAX	0431-859190	
	自宅	0431-352819	
	FAX	0431-351363	

CV. BINTANG KAWANUA			
TEL 0431-811565			
FAX 0431-811474			
松浪	携帯	0811-430301	

東海澱粉ビトゥン駐在員事務所			
TEL 0438-30216			
FAX 0438-30861			
川口			

Universitas Sam Ratulangi (留学生)			
喜多	下宿	0431-821307	

各グループで筆頭の方が、そのグループでの連絡責任者です。  
日本語のできない人が連絡を受け取った場合を想定して、その後の処置について、事前に打ち合わせておく必要があります。  
自分の次に当たる人に連絡不可能な場合、とりあえず一つ飛び越えて連絡して下さい。この事は所属支部長に連絡して下さい。  
人員構成・連絡先等の変更や帰国の場合は、ウジュンバンダン総領事館および安全対策連絡協議会本部に速やかに連絡することをお願いします。  
出張や一時帰国等で連絡先を離れる場合、同グループの方または連絡網の前後の方に一声かけるようにお願いします。  
在留地で緊急事態に遭遇された場合や、その様な情報を得た場合、総領事館に連絡すると共に近隣者、本部に適切に連絡して下さい。  
個人のプライバシーに関する情報を含みますので、部外者に渡すことはご遠慮下さい。